

AWA BANK Disclosure 2017



吉野川と眉山(徳島市)



田井ノ浜(美波町)

AWA BANK 2017

みなさまには平素より私ども阿波銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。本年もここに『阿波銀行ディスクロージャー誌2017』をお届けいたします。本誌は、当行グループの現況をご理解いただくため、経営方針、最近の業績、各種取組みならびにグループ会社の状況などを取りまとめしております。ご高覧のうえ、当行をさらにご理解いただければ幸いに存じます。みなさまにおかれましては、より一層のご支援、お引き立てを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成29年7月
株式会社 阿波銀行

当行の概要

(平成29年3月31日現在)

商号	株式会社阿波銀行 (The Awa Bank, Ltd.)
本店所在地	徳島市西船場町二丁目24番地の1
創業	明治29(1896)年6月21日
設立	明治29(1896)年6月19日
資本金	234億円
店舗数	99店舗(徳島県内80店舗、県外19店舗)
CD・ATM数	197カ所
従業員数	1,312人
預金残高	2兆7,814億円(譲渡性預金を含む)
貸出金残高	1兆7,604億円
自己資本比率 (国内基準)	(連結)11.65%(単体)11.11%
格付け	AA-(JCR)、A+(R&I)





大鳴門橋(鳴門市)

CONTENTS

頭取メッセージ	03	良き「パートナー」をめざして	25
決算ハイライト	07	●「お客さま本位の業務運営」に関する取組み方針	— 25
四国アライアンス	11	商品・サービス	29
永代取引のSINKA		●主要な業務の内容	— 29
●お客さまの経営支援に関する取組み方針	13	当行の概況	
●目利き力向上への取組み	14	●当行の歩み	31
●あわぎんネットワーク	15	●役員一覧	33
●創業・第二創業支援への取組み	15	●組織図	35
●本業支援への取組み	16	GRC態勢強化に向けて	
●海外進出支援への取組み	17	●コーポレート・ガバナンスについて	37
●経営改善・事業再生支援への取組み	17	●内部統制システムの整備の状況について	38
地球環境保護への取組み	18	●コンプライアンス態勢について	40
CSRへの取組み		●リスク管理態勢について	41
●お客さま第一対応宣言	19	店舗等一覧	43
●地域に根ざした銀行として	21	店舗外CD・ATM設置場所	45
●青少年の育成について	23	店舗配置図	46
●人材育成について	24		
●店舗の新築・移転	24		



鷲敷ライン(那賀町)



祖谷のかずら橋(三好市)

「地域密着 一等星銀行へ」

121年目のスタートにあたり

皆さまには、平素より私ども阿波銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当行は、おかげさまで本年6月に創業121周年を迎えました。これもひとえに、お客さまをはじめ、株主さま、地域の皆さまの永年にわたる温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

経営理念「堅実経営」

当行は、明治29年に徳島経済の発展に資するため、当時の阿波藍商人たちが資金を持ち寄り設立されました。江戸時代から明治時代に活躍した阿波藍商人は「堅実」を旨とし、何よりも「信用」を重んじるほか、社会に対する「奉公」を経営哲学としていました。当行の行是「堅実経営」には、“原理・原則に基づき、信用を重んじる”“良き伝統を守り、未来に挑戦する”という2つの意味があり、単に堅実だけでなく、「守るべきは守り、進むべきは進む」という時代の変化に積極果敢に対応する想いが込められております。

取締役頭取 長岡 奨

経営理念

— 地域の皆さまから信頼され、愛される銀行をめざして —

当行は、これからも創業の思いである「堅実経営」をしっかり守り続け、地域やお客さまの発展に全力を挙げて取り組んでまいります。

激変する金融環境

平成28年度のわが国経済は、企業収益が高水準で推移するなかで、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、設備投資や個人消費が底堅く推移いたしました。また、地元徳島の経済につきましても、雇用・所得環境の改善が進んでおり、総じて景気の緩やかな回復が続いております。

一方、私ども金融機関を取り巻く環境は、人口の減少や少子高齢化、都市集中化による地域間格差の拡大といった社会・経済構造変化が加速度的に進む中、マーケットの縮小やフィンテックと呼ばれる金融技術の台頭、未曾有の金融緩和政策による利ざやの縮小など、かつて経験したことのない激変期を迎えております。

経営計画「Sparkle 125th」

このような経営環境のもと、当行では、これまで培ってきた信用と伝統を守りつつ、持続的な成長を遂げるため、平成28年4月から、「地域密着一等星銀行へ」をテーマとした、経営計画「Sparkle 125th」を実践しています。

本計画は、世代を超えた息の永い取引を継続し、地域やお客さまの持続的な発展に寄与していく当行の伝統的営業方針「永代取引」を進化させ、その真価を発揮することにより、「永代取引」を卓越したビジネスモデルへ成長させてまいります。そして、創業125周年となる平成33年に「規模効率トップ5の銀行」をめざしてまいります。

「Sparkle 125th」第2フェーズへ

当行の経営計画「Sparkle 125th」は、激変する環境変化に対応するため、1年毎に計画を見直すローリング方式を採用しています。本年4月から移行した第2フェーズにおきましても、引き続き「地域密着一等星銀行へ」をテーマに、中小企業取引を中心とした当行独自のビジネスモデル「永

行是

堅実経営

1. 原理・原則に基づき、信用を重んじた経営を行います。
2. 良き伝統を守り、未来に挑戦する経営を行います。

経営方針

- 一、信用の重視
- 一、地域への貢献
- 一、お客さま第一
- 一、人材の育成
- 一、進取の精神

■ 経営計画

Sparkle 125th

— 地域密着 一等星銀行へ —

長期ビジョン

「卓越した価値を提供し、地域とお客さまの良きパートナーとなる」

【地域社会】

地方創生への積極的な取り組みで、新たな産業・サービスが興り、魅力溢れる“まち”づくりをサポートしている

【お客さま】

お客さまの事業やニーズ等を誰よりも理解し、期待を超える価値をタイムリーに提供している

【職員】

職員がいきいきと仕事をし、当行で働くことにやりがいと誇りを持ち続けている

平成29年4月～平成32年3月（第2フェーズ3ヵ年）

【基本戦略】 **永代取引のSINKA** ～進化そして真価～

事業性評価
付加価値営業

ファミリー
サポートの強化

地方創生への
積極的な取り組み

ネットワーク
の活用と拡大

ヒトとチャネル
の融合

人材と組織
の強化

ALMの強化

攻めのGRC態勢

ガバナンスの高度化

リスク管理態勢の高度化

コンプライアンス態勢の強化

※Sparkle（スパークル） 煌めき、輝き、活気 ※一等星 自分自身で光り輝く恒星の中で最も明るい星 ※永代取引 世代を超えた息の長い取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという当行の伝統的営業方針

第1フェーズ 平成28年4月～平成31年3月

第2フェーズ 平成29年4月～平成32年3月

第3フェーズ 平成30年4月～平成33年3月

※環境変化に対応するため、1年毎に見直すローリング方式を採用

平成33年6月
創業125周年
規模効率トップ5の銀行

経営目標
(平成33年3月期)

修正OHR	57%未満
当期純利益ROA	0.4%以上
ROE	5%以上
株主還元率	40%以上

経営計画【第2フェーズ】

【テーマ】

「地域密着 一等星銀行へ」

Sparkle 125th基本戦略

事業性評価・付加価値営業

ファミリーサポートの強化

地方創生への積極的な取り組み

ネットワークの活用と拡大

ヒトとチャネルの融合

人材と組織の強化

ALMの強化

攻めのGRC態勢

第2フェーズの重点戦略

目利き力向上による付加価値営業の実践

ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

四国アライアンスの機能強化と地方版総合戦略への積極的参画

県内外の広域ネットワークを活用した課題解決力の強化

お客さまのニーズに合わせた対面・非対面サービスの提供

高い付加価値を提供できる人材の育成と働き方改革による生産性向上

市場環境に柔軟に対応した最適なB/Sの構築

オペリスク管理の高度化と持続的ROE経営の実践

代取引]をさらに進化させることにより将来に亘る確かな成長を遂げてまいります。

基本戦略を構成する7つの柱に基づいた施策にスピード感を持って取組み、当行の独自性を徹底的に磨いてまいります。

法人のお客さまには、当行の強みである“県内外に広がるネットワーク”を活用した本業支援、“目利き力”の発揮による経営課題の解決など、最適なソリューションを提供してまいります。

さらに、個人のお客さまには、多様化するニーズを把握し、ライフステージに応じたコンサルティング機能を発揮することにより、安定した資産形成に寄与してまいります。

また、「地方版総合戦略」が本格稼働を迎えるなか、地方創生に資することは、地域のリーディングバンクとして求められている社会的使命そのものと認識しております。当行は、昨年11月に四国の地方銀行3行と包括提携「四国アライアンス」を締結しました。4行の主たる営業基盤であるここ四国は、人口の減少や少子高齢化等の社会構造問題先進圏という課題に直面しています。4行は、このような環境認識を共有し、各行の経営の独立性および健全な競争関係を維持しつつ、それぞれの強みやノウハウを結集・連携して「四国創生」に取組み、四国全域の持続的な成長・発展に繋がってまいります。

地域密着一等星銀行へ

当行が持続的な成長を遂げていくためには、「お客さま感動満足」を追求していくことが不可欠であると認識しています。

地域の皆さまから信頼され、愛される「強くて良い銀行」をめざして、強固な経営基盤を構築し、経営の健全性・収益性・成長性のバランスのとれた企業価値の向上に繋がってまいります。

これからも経営計画「Sparkle 125th」の着実な実践により、お客さま、株主さま、地域社会の皆さまのことを誰よりも理解し、卓越した価値を創造・提供することで、皆さまの良き「パートナー」となれるよう全役職員が一丸となり取組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

取締役頭取
長岡 奨



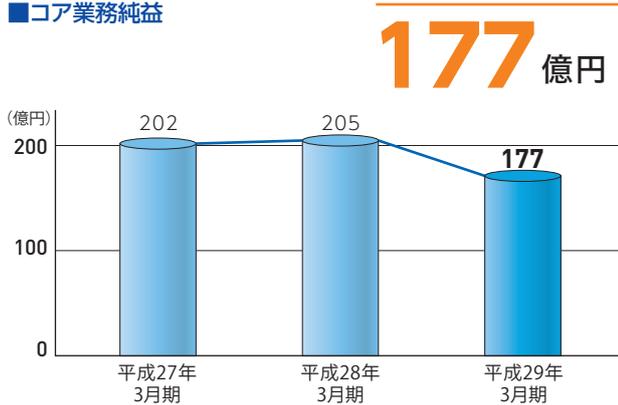
決算ハイライト

～堅実な経営内容をご覧ください～

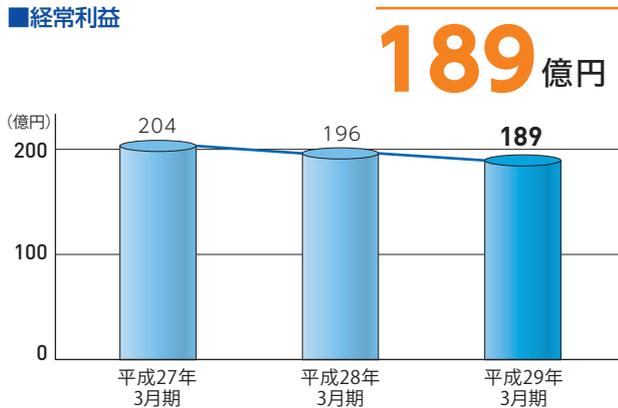
■業績の推移

コア業務純益は、有価証券利息配当金および貸出金利息の減収により、前年度比28億円減益の177億円となりました。
経常利益および当期純利益は、それぞれ同7億円減益の189億円、同5億円減益の120億円となりました。

■コア業務純益



■経常利益



■当期純利益



(単位：%)

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
当期純利益 ROA	0.40	0.41	0.38
当期純利益 ROE	5.35	5.20	4.84
修正 OHR	57.29	56.97	60.50

ROA(リターン・オン・アセット:総資産利益率)

資産をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

●当期純利益ROA=当期純利益÷総資産期首・期末平均

ROE(リターン・オン・エクイティー:自己資本利益率)

自己資本をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

●当期純利益ROE=当期純利益÷純資産期首・期末平均

OHR(オーバー・ヘッド・レシオ:業務粗利益経費率)

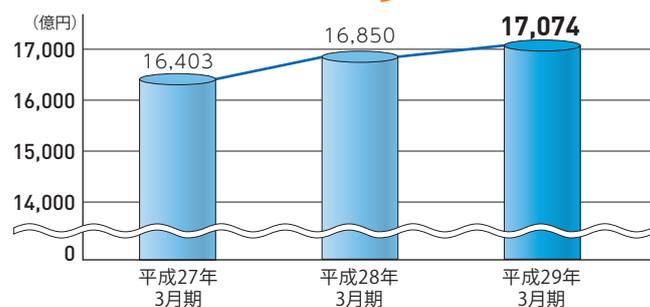
一定の利益をあげるために、どれだけの経費がかかっているかを表す指標であり、数値が低いほど経費がかかっていることを表しています。

●修正OHR=経費÷修正業務粗利益(業務粗利益-国債等債券関係損益)

貸出金

貸出金(平均残高)

17,074 億円



貸出金(平均残高)は、事業性評価に基づく、主力の中小企業向け融資の増強に取組んだ結果、前年度比223億円増加しました。

預金等

預金・譲渡性預金(平均残高)

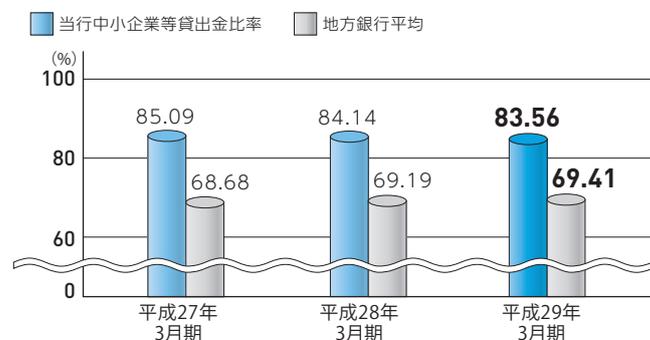
27,430 億円



譲渡性預金を含む総預金残高(平均残高)は、法人預金・個人預金が順調に推移したことから、前年度比817億円増加しました。

中小企業等貸出金比率

83.56%

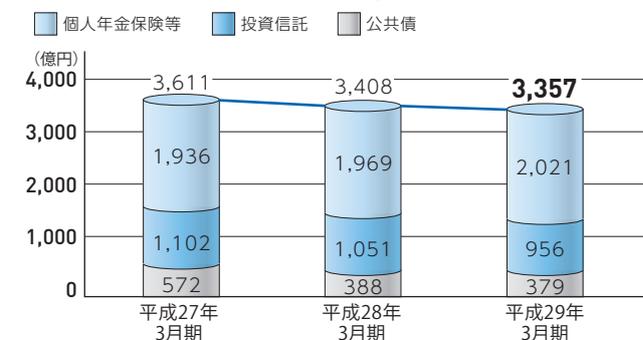


中小企業等貸出金比率は、引続き高い水準を維持しています。

(注1) 地方銀行平均は、全国地方銀行協会会員各銀行の数値を単純平均しています。
(注2) 地方銀行平均の平成29年3月期は、平成28年9月期の数値を使用しています。

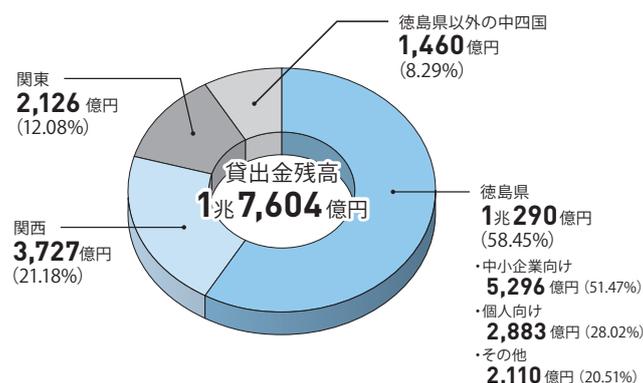
預かり資産残高

3,357 億円

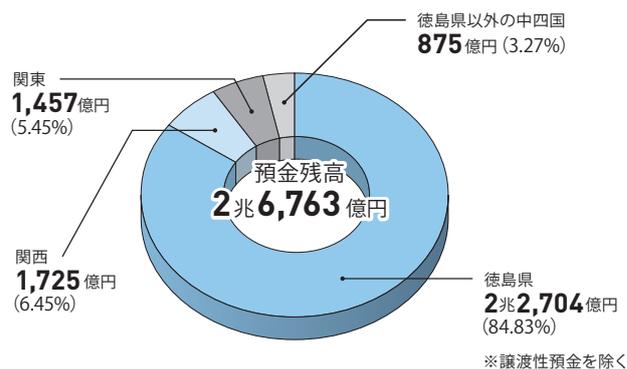


公共債、投資信託および個人年金保険等の期末残高を合計した預かり資産残高は、前年度比50億円減少しました。

貸出金地域別内訳(平成29年3月末残高)



預金地域別内訳(平成29年3月末残高)



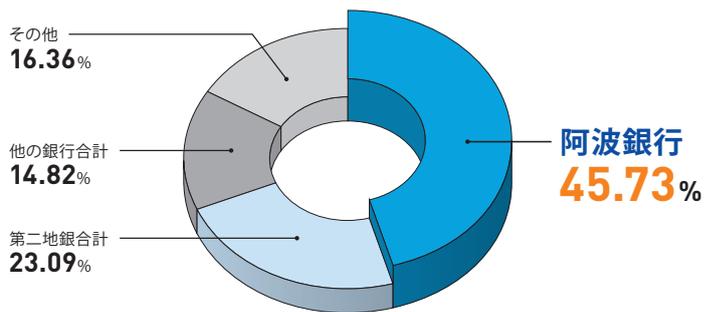
決算ハイライト

～堅実な経営内容をご覧ください～

■ 貸出金の状況

■ 徳島県内シェア (平成28年9月末残高)

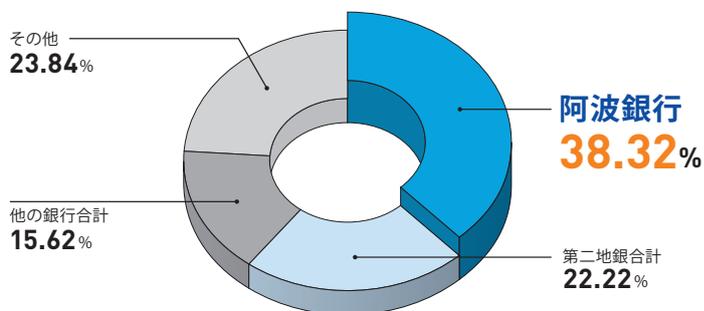
徳島県内の融資シェアは45.73%と引続き高いシェアを占めています。



■ 預金の状況

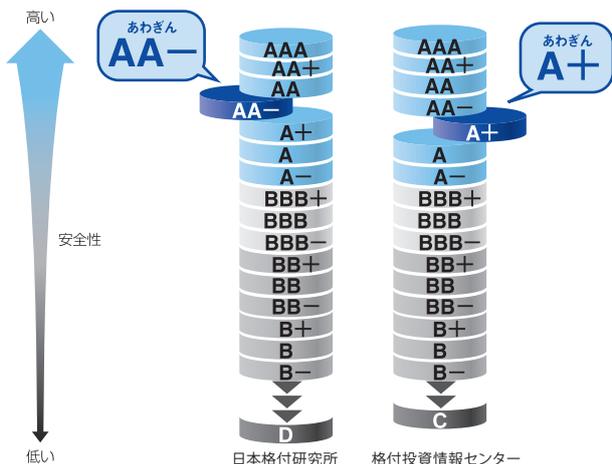
■ 徳島県内シェア (平成28年9月末残高)

徳島県内の預金シェアは38.32%と引続き高いシェアを占めています。



※ゆうちょ銀行・譲渡性預金を除く

■ 格付け



■ 格付け (平成29年6月30日現在)

日本格付研究所 **11**年連続 **AA-** 格付投資情報センター **17**年連続 **A+**

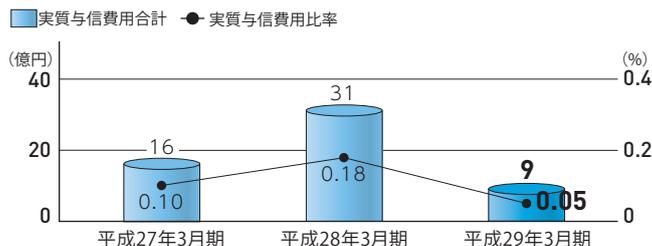
銀行の安全性・信用度を示す格付けは、日本格付研究所 (JCR) から「AA-」、格付投資情報センター (R&I) から「A+」の長期格付けを取得しており、当行の経営の安全性は高く評価されています。

不良債権処理費用

実質与信費用

引続き低水準を維持しています。

9 億円

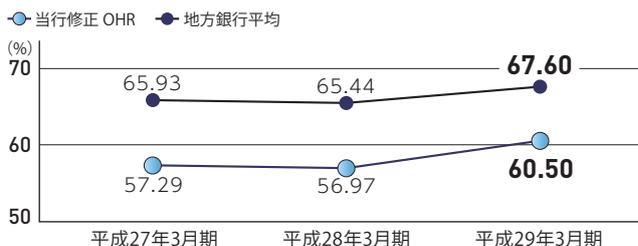


経営効率

修正OHR

高い経営効率を維持しています。

60.50 %



(注1) 地方銀行平均は、全国地方銀行協会会員銀行集計値ベースです。
(注2) 地方銀行平均の平成29年3月期は、平成28年9月期の数値を使用しています。

リスク管理債権の状況

リスク管理債権比率(※)

適切な債権管理を実施しています。

2.81 %



(※) 銀行法に基づき算出する、貸出金の中に占める不良債権の割合を示す指標です。

自己資本の状況

自己資本比率(連結)

高い安全性・健全性を維持しています。

11.65 %

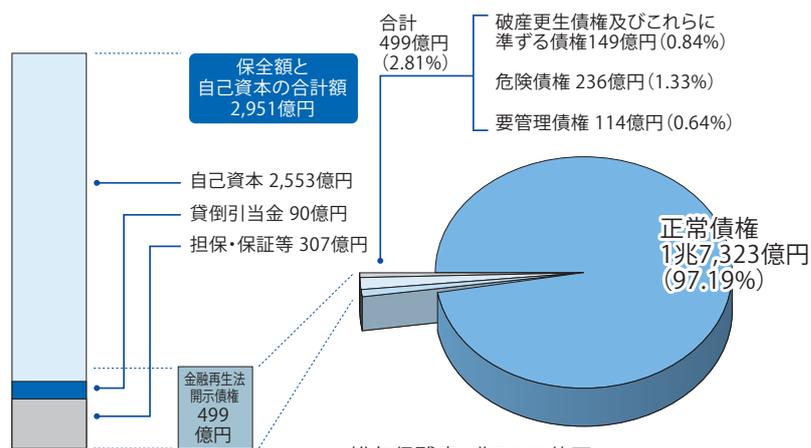


金融再生法に基づく開示債権

金融再生法開示債権

499 億円

金融再生法開示債権のうち79.64%は担保・保証や貸倒引当金により保全されています。さらに、この債権額を大きく上回る自己資本があり、十分な経営体力を確保しています。



総与信残高1兆7,823億円 ※比率の単位未満は四捨五入

四国アライアンス

～包括提携「四国アライアンス」始動～

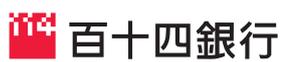
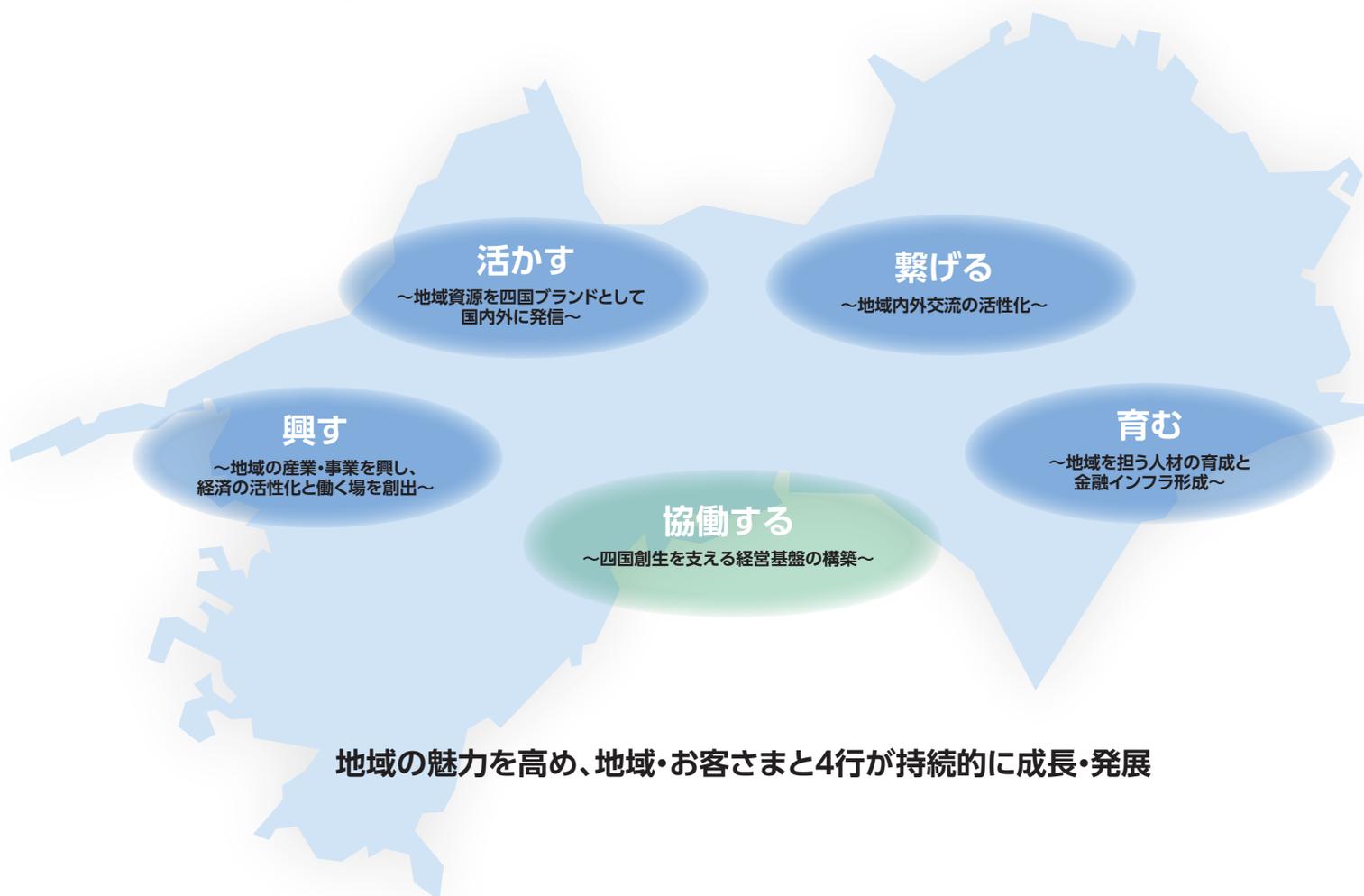
「四国アライアンス」～四国創生に向けた地方銀行4行による包括提携～

昨年11月、四国の地方銀行4行で、包括提携「四国アライアンス」を締結しました。独立経営のもと、健全な競争関係を維持しつつ、それぞれの強みやノウハウを結集し、四国創生に向けた5つのテーマに取り組めます。



【デザインコンセプト】

上部にShikokuの「S」、下部にAllianceの「A」をリボンで形作り、リボンを構成する4色ラインが4行を表しています。それぞれが結び繋がり、一つの目的に向かって協働し、それが「四国全体へのギフト(四国創生)」になるという思いを表現しました。





四国創生に向けた5つのテーマと主要施策

テーマ		主要施策	
興す	地域の産業・事業を興し、経済の活性化と働く場を創出	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンド運営会社の共同設立 ● シンクタンクによる地域経済の共同研究 ● 四国の産業振興に向けた取組みへの参画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「道の駅」を活用した企画・イベント ● ビジネスプランコンテストの開催
活かす	地域資源を四国ブランドとして国内外に発信	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランド化推進プラットフォームの整備 ● 「スタートアップキャンペーン」の実施 ● 四国をめぐる観光推進施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 四国を考えるフォーラム等の開催
繋げる	地域内外交流の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 4行でのビジネスマッチング開始 ● 海外ビジネス交流会の開催 ● 若手経営者の合同交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一次産品、ものづくり商談会の開催
育む	地域を担う人材の育成と金融インフラ形成	<ul style="list-style-type: none"> ● いよぎん証券の共同活用 ● 四国アライアンス独自の投資信託組成 ● 保険窓販に関する共同プロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● FinTechを活用した新たなサービスの創造 ● 四国ロイヤリティを醸成するセミナーの開催 ● 有価証券の共同運用
協働する	四国創生を支える経営基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務の共同化 ● 研修の相互参加、合同研修の開催 ● 4行間での人材交流 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性行員の視点を取入れた企画 ● 地域の防災・業務継続に関する取組支援

TOPICS ～「四国創生」に向けた取組み～

興す	<p>四国『道の駅』自慢の逸品ラリーへ参加</p> <p>「まち」の産業・観光振興に取組む四国「道の駅」を訪れるスタンプラリーに参加します。各地域の自慢の逸品を購入または体験することを通じて、道の駅や周辺地域の魅力を再発見することで、地域の活性化に貢献してまいります。</p>	活かす	<p>「スタートアップキャンペーン」の実施 (平成29年4月6日取扱開始)</p> <p>四国アライアンスの始動に伴い、特定の商品をご購入いただいたお客さまの中から抽選で、4県の特産品をお届けするスタートアップキャンペーンを実施しました。(本キャンペーンは5月31日で終了しております。)</p>
繋げる	<p>「4行でのビジネスマッチング」開始</p> <p>「繋げる」の主要施策として、4行間でビジネスマッチングを開始しました。4行が有するさまざまなネットワークを活用し、ヒト・モノ・カネ・情報に関するあらゆる事業ニーズにお応えすることで、お客さまの企業価値向上につなげていきます。</p>	育む	<p>四国アライアンス独自の投資信託を組成 (平成29年7月3日申込開始)</p> <p>四国アライアンスによる共同企画として独自に組成した投資信託「四国アライアンス 地域創生ファンド」(四国の未来)の取扱いを開始しました。</p> <p>身近な地域企業への投資を通じて四国経済の活性化に貢献していきます。</p>

永代取引|のSINKA ~企業経営の支援と地域活性化~

■お客さまの経営支援に関する取組み方針

「世代を超えた息の永い取引を継続し、永続的な発展に寄与していく」という当行の伝統的営業方針「永代取引」を、さらに進化させ、その真価を発揮することで卓越したビジネスモデルへと成長させてまいります。

あわぎんグループおよび業務提携先と連携して、「永代取引」を実践し、高い付加価値を提供することで、地域やお客さまの発展に貢献します。

あわぎん地域密着型金融推進計画

当行の伝統的営業方針である「永代取引」を実践することが、地域密着型金融の推進と同義と位置づけ、その実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

目利き力向上への取組み強化

■事業性評価への取組み強化

財務分析に加えて、お客さまのビジネスモデルや将来性等についてお客さまとの対話を通じて適切な理解に努め、各種融資商品等を活用して、事業性評価に基づく融資推進に積極的に取組みます。

■コンサルティング機能の発揮

事業性評価を通じて共有した経営課題に基づき、課題解決に向けたサポートに取組みます。

地方創生への積極的な取組み

■国の総合戦略や地方版総合戦略推進への参画

産官学金労言の連携のもと、総合戦略等の推進に積極的に取組みます。

■地域における金融機能の高度化に向けた取組み

さまざまなライフステージにおける企業の経営課題解決に向けた取組みを支援します。

■地域経済の好循環拡大に向けた取組み

新たな付加価値の創造により、地域経済の成長を支援します。

あわぎんネットワーク力を発揮し、高い付加価値を創造します。

■中小企業取引に特化した戦略の展開

当行は、中小企業取引をコアビジネスと位置づけ、お客さまのさまざまなライフステージにおけるニーズや課題に向き合い、オーダーメイドによる課題解決に取組んでいます。地域経済のさらなる発展に向け、ご融資をはじめ各種情報提供やコンサルティング機能の発揮に積極的に取組んでいきます。

■お客さまとの関係強化とネットワークの拡大

貸出金残高の徳島県内シェアは45.73%、全融資先に占めるメイン融資先^(※2)の割合は65.7%となっています。

徳島をはじめ中四国・関西・関東のお客さまをつなぎ、ネットワークを拡大することで地域経済のさらなる発展に貢献し「地域とお客さまのよきパートナーとなる」ことをめざしています。

●融資先の地域別内訳 (平成29年3月末)

全融資先数^(※1)

16,136件

メイン融資先の割合^(※2)

65.7%

中四国
1,456件

徳島県
9,597件

関西
3,402件

関東
1,681件

※1…当行融資先のうち事業向け融資残高がある先
※2…全融資先のうち借入残高に占める当行の割合が1位の先

目利き力向上への取組み

さらなる「永代取引」の追求のため、対話を通じてお客さまの事業内容や強み・弱みを理解し、将来性を見極める「事業性評価」を実践するなど、「目利き力」向上へさまざまな取組みを行っています。

【当行における「目利き力」の定義】

「経営者の思い、考え、戦略をヒアリングする力」
「適切な事業性評価により企業の将来性を見極め、課題解決に導く力」

「目利き力」の向上へ



お客さまの事業内容を適切に理解する取組み

財務分析に加えて、経営環境や将来性などお客さまの事業内容の適切な理解に努めています。さらなるお客さまの企業価値向上に向け、対話を通じた事業性評価シート^(※3)等の作成による経営課題の共有に取り組んでいます。

●事業性評価シート等作成先

対前期比 **1,794** 件増加

※3…お客さまとの対話を通じて当行が作成する独自の事業性評価の分析資料

付加価値の高い金融サービスへの取組み

「目利き力」向上へのさまざまな取組みを通して、付加価値の高い金融サービスを提供しています。お客さまの企業価値の向上に貢献し、お客さまとお互いに成長・発展できる好循環をめざしています。

●融資先の経営指標等の改善状況(平成29年3月末)

メイン融資先数^(※4) **8,583** 件のうち
経営指標等^(※5)が改善した融資先数 **3,965** 件

※4…企業をグループ単位とした当行融資先(13,258件)のうち借入残高に占める当行の割合が1位の先
※5…売上高・営業利益率・労働生産性のうちいずれかの向上、または就業者数が増加した先

経営者保証に関するガイドラインへの取組み

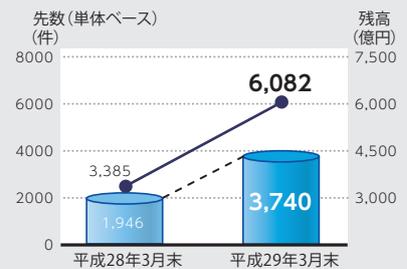
経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を踏まえ、新規融資の発生、保証契約の更改および保証人等から既存契約の見直しの申入れ等があった場合、お客さまの意向や経営状況等を確認のうえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に努めています。

●経営者保証ガイドライン活用件数

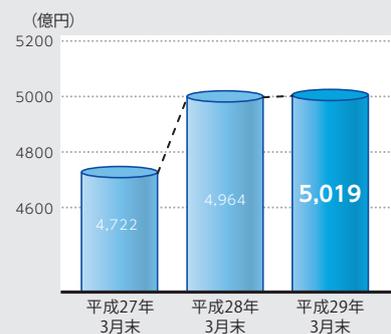
対前年同期比 **94** 件増加

支援実績

事業性評価シート等作成先の先数および融資残高



経営指標等^(※5)が改善した融資先の過去3年間の融資残高推移

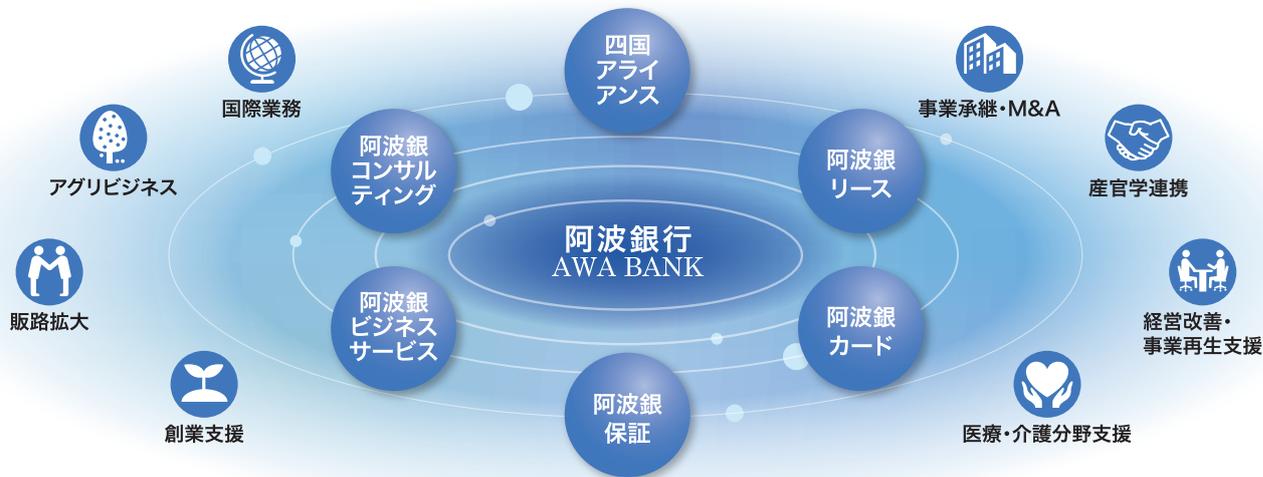


経営者保証ガイドライン活用件数推移と新規融資に占める割合



■あわぎんネットワーク

あわぎんグループや外部提携先を活用し、多様な企業支援ソリューションサービスを通じて、お客さまの経営課題の解決をお手伝いします。永代取引の真価を発揮し、卓越した価値を提供することで、地域やお客さまの発展に貢献します。



ネットワーク力を発揮し、お客さまの経営課題を解決

創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
633先	866先	7,481先	463先	1,038先

(企業のライフステージ^(※)別の融資先数) (※企業のライフステージは、創業年月・売上高の平均増加率等で区分しています。)

■創業・第二創業支援への取組み

■あわぎん創業スクールの開講

地域における創業者数の増加を図るため、創業に必要な財務・税務等の基本知識習得のほかマーケティングの基本やビジネスプランの作成支援に取り組んでいます。本スクール受講生が、約2,000名が応募する「第3回全国創業スクール選手権」のファイナリスト8名のひとりに選出されました。

■ファンドを活用した創業支援 (平成29年5月31日現在)

徳島県を中心とする地域で、創業や新規事業展開または独自性を有し今後成長が見込まれる事業に取り組むお客さまへ直接投資を行っています。従来の投資ファンドに比べ投資対象が広く、さまざまなライフステージへの対応が可能となっています。

	6次産業化支援	地方創生・産学連携
ファンド名	アグリファンド	地方創生ファンド
設立年月	平成25年11月	平成27年10月
投資先数	2件	3件
投資決定金額	8,000万円	20,810万円

投資事例)アグリファンド

地元食材を使用した加工品を生産・販売する企業へ30百万円を出資

徳島で生産された農作物を使用した飲食店兼セントラルキッチンを運営し、徳島の食材をさまざまな商品・メニューとして消費者に提供し、加工品を首都圏の飲食店に販売することで、地域の農産物の生産と雇用拡大を図る企業へ出資しました。

投資事例)地方創生ファンド

超音波霧化分離技術を有する企業へ100百万円を出資

当社の基本技術である超音波霧化分離技術は、既存技術と比較して、加熱・加圧が不要、低エネルギー、省スペースなどの特徴があり、分離・回収技術が必要とする幅広い分野で応用展開が見込まれています。



その他の支援事例

公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団による助成

優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団を通じて、徳島大学と地元企業の共同研究に積極的な助成を行っています。

累計助成実績 (平成29年3月末現在)

	件数	助成額
学術部門	181件	9,970万円
文化部門	394件	7,047万円
合計	575件	1億7,017万円



■ 本業支援への取組み

■ 事業承継・M&A

事業承継対策として、外部専門家を含めたサポート体制を敷き、財務面のみならず経営面で広い視野に立った対策を検討し、事業承継プラン作成等の支援に取り組んでいます。

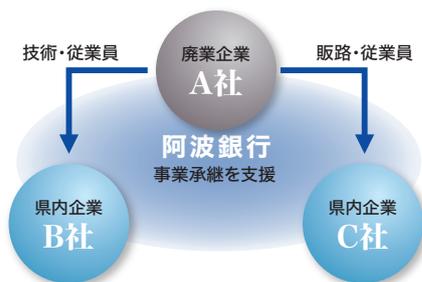
また、さらなる成長をめざすお客さまと後継者問題等を抱えるお客さまとの橋渡し役として、事業の買収・売却に対し、相手先の発掘から成約まで総合的な支援に取り組んでいます。

事業承継事例)

地元企業同士をつなぐM&A支援

高い技術を有するものの、後継者がいなかった製造業A社の技術力・販売先・従業員を、部門ごとにそれぞれB社およびC社に事業譲渡するM&Aを支援しました。

A社従業員の雇用は守られ、また受け皿となるB社およびC社は安定した販売先・従業員、技術力を手にし、A社は円満な形で廃業に進むことができました。



■ 企業誘致・販路開拓

「サテライトオフィス相談デスク」の設置

全国屈指のブロードバンド環境を有し、現在45社(平成29年3月31日現在)のサテライトオフィスが進出している徳島県へのさらなる誘致および支援を行うために、徳島県と共同で「サテライトオフィス相談デスク」および「地域相談窓口」を、県内3店舗・県外2店舗等に設置しています。

名称	サテライトオフィス相談デスク 地域相談窓口
設置場所	営業推進部営業支援課(徳島市) 日和佐支店、石井支店、池田支店、東京支店、大阪支店
対応内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィスの各種相談(税務・法務・財務等)への対応 ・新事業展開や新規進出に対するファイナンスを含めた相談対応 ・サテライトオフィスと県内企業や地元大学との連携機会の創出 ・サテライトオフィスの圏域を超えた交流連携の推進

各種商談会によるビジネスマッチング

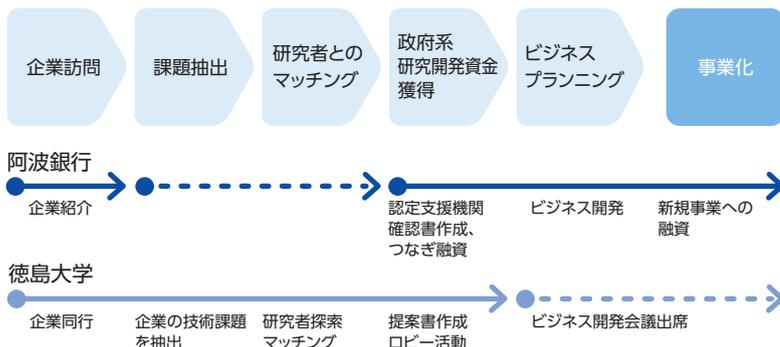
食に関する大規模商談会「地方銀行フードセレクション」や、四国の地方銀行4行による「四国インバウンド商談会」など、販路拡大をテーマとした商談会を開催し、お客さまへビジネスマッチングの機会を提供しています。

産学金の連携を強化

徳島大学と連携し、それぞれが保有する研究技術、情報およびノウハウを活用して、地域の産学連携を推進しています。双方の得意分野を活かし補完関係を構築して、地元企業の成長を支援する本スキームにより、平成29年3月末現在で19件の共同研究が進行しています。

また、この取組みは「平成28年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として内閣府に表彰されました。

【課題解決型産学連携プロセス】



支援実績のご紹介(平成28年度)

創業・第二創業の支援状況

創業への支援先数…………… **69**件

第二創業への支援先数…………… **9**件

本業の支援状況

本業支援先数…………… **1,157**件

M&A支援先数…………… **81**件

事業承継の支援状況

支援先数…………… **240**件

支援実績のご紹介(平成28年度)

販路開拓の支援状況

支援先数…………… **31**件

徳島県への企業誘致支援状況

支援先数…………… **20**件

交流イベント

「サテライトオフィスとビジネスを創る」開催

サテライトオフィス(以下[SO])進出企業と地元企業を結びつける交流イベント「SOとビジネスを創る」を開催しました。

徳島県には、現在45社のSOが立地しており、この集積を活かしたビジネスを創造していく目的で、このイベントを企画しました。

今後ともSOのサポート体制と地元企業とのつながりを更に充実させることにより、地域経済の活性化に貢献していきます。



■ 海外進出支援への取組み

■ 海外進出を支援

海外金融機関をはじめ海外コンサルタント会社、損害保険会社、リース会社等との連携を通じてお客様の海外進出に対するコンサルティングや、海外でのリースを含めた総合的な金融サービスのご提供を行っています。



海外進出への支援実績 (平成28年度)

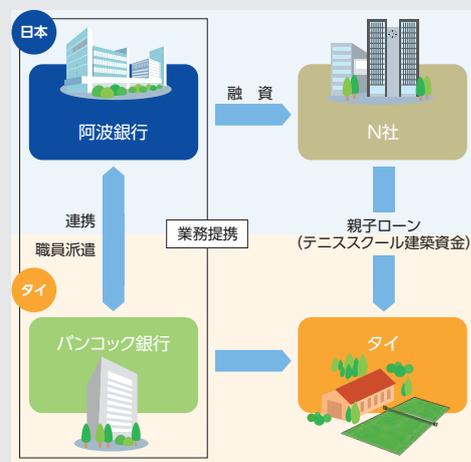
事例) ASEANでのテニススクール事業展開をバンコック銀行と連携して支援

スポーツスクールを展開しているN社の、タイ(バンコク)におけるテニススクール開設の設備投資計画に対し、資金調達をサポートしました。また、現地での市場調査や法人設立、親子ローン受取手続きのほか、会員からの会費徴収方法についても、バンコック銀行と連携したサポートを行いました。

当行は、平成24年にバンコック銀行と業務提携を締結し、金融面のみならず幅広い支援を行っています。

【支援内容】

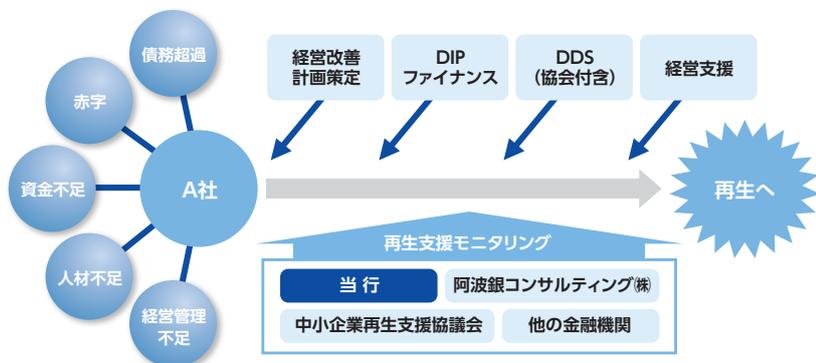
- 市場調査、現地視察同行、現地法人設立支援、親子ローン受取
- テニススクール会員からの会費徴収に、バンコック銀行のクレジットサービスを提案



■ 経営改善・事業再生支援への取組み

■ 事業再生を支援

経営改善支援を目的に専門スタッフを配置し、経営改善計画の策定や多様な事業再生スキームを活用することで、お客様の経営改善・事業再生支援に取り組んでいます。



経営改善・事業再生への支援実績 (平成28年度)

● 貸出条件の変更を行っている企業の経営改善計画進捗状況

条件変更先数	1,286件
好調先	28件
順調先	222件
不調先	1,036件

好調先 … 売上高が計画比120%超の先
 順調先 … 売上高が計画比80%以上120%以下の先
 不調先 … 売上高が計画比80%未満の先
 (うち経営改善計画なし先905件)

【ソリューション内容】

- 当行が中心になり、事業再生に向けた取組みに着手。
- 外部コンサルタントを導入し、経営改善計画の策定、経営管理面の見直しに着手。
- 中小企業再生支援協議会の支援を受け、財務面・信用力の強化を図るため、金融支援としてDDS^(※1)を含めた経営改善計画を策定。
- 当面の資金繰りの安定化へ、DIPファイナンス^(※2)を実行。

● 経営改善支援に向けた取組状況

経営改善支援取組み率	6.4%	(経営改善支援取組み先数: 235件 / 期初債務者数: 3,699件)
ランクアップ率	7.7%	(ランクアップ先数: 18件 / 経営改善支援取組み先数: 235件)
再生計画策定率	80.9%	(再生計画策定先数: 190件 / 経営改善支援取組み先数: 235件)

(※1)【DDS】

金融機関が既存の貸出債権を一般の債権よりも返済順位の低い「劣後ローン」に切り替える手法のことです。

(※2)【DIPファイナンス】

広義の意味で再生手続中の企業に対し、新たな資金を融資する手法のことです。

あわぎん ECOプロジェクト

「あわぎんECOプロジェクト」と名づけたさまざまな環境保護活動を実践しています。徳島の豊かな自然を次世代に残すため、職員のボランティアによる吉野川・穴吹川の河川敷清掃活動や、森林保護活動などを継続して行っています。

うちの土手清掃ボランティア活動



「あわぎんの森」森づくりボランティア活動



人と環境にやさしい「ユニバーサルデザイン通帳」を導入

平成29年5月1日から通帳およびキャッシュカードのデザインを変更し、人と環境にやさしい「ユニバーサルデザイン通帳」を導入しました。

文字の大きさ、識別しやすい配色などに配慮したユニバーサルデザインを採用するほか、環境に配慮したベジタブルオイルインキ・リサイクル素材を使用しています。



電力消費の削減へ

当行では、クールビズ・ウォームビズの実践を通じ、地球温暖化防止に取り組んでいます。また、毎月7日をライトダウンの日とするなど、節電に取り組んでいます。



クールビズ



セタライトダウン(18時以降の消灯)

ユニバーサル対応：全通帳
デザインの変更：普通預金、総合口座など6通帳

CSRへの取組み ～豊かな地域社会の発展をめざして～

■ お客さま第一対応宣言

当行は、経営方針に掲げた「お客さま第一」を実現するため「お客さまの声」を通じ、CIS（お客さま感動満足）向上に向け、より質の高いサービスの提供に全行をあげて取り組んでいます。

全役職員がお客さまとのあらゆる「接点」を大切に、常にお客さまの立場に立って物事を考え、熱意をもった対応を迅速に実践していくことを行動指針としています。また、各店のロビーおよびキャッシュコーナーに「お客さまご意見カード」を設置し、お客さまの声に耳を傾けて業務全般に反映させ、お客さまの満足度向上に努めています。

お客さま第一対応宣言

当行では、金融業務の健全性・適切性を確保するとともに、「信用の維持」・「預金者の保護」・「金融の円滑化」を図るため、お客さまの視点から業務を捉えなおし、不断に検証、改善していく基本的な方針として、「お客さま第一対応宣言」を制定しております。

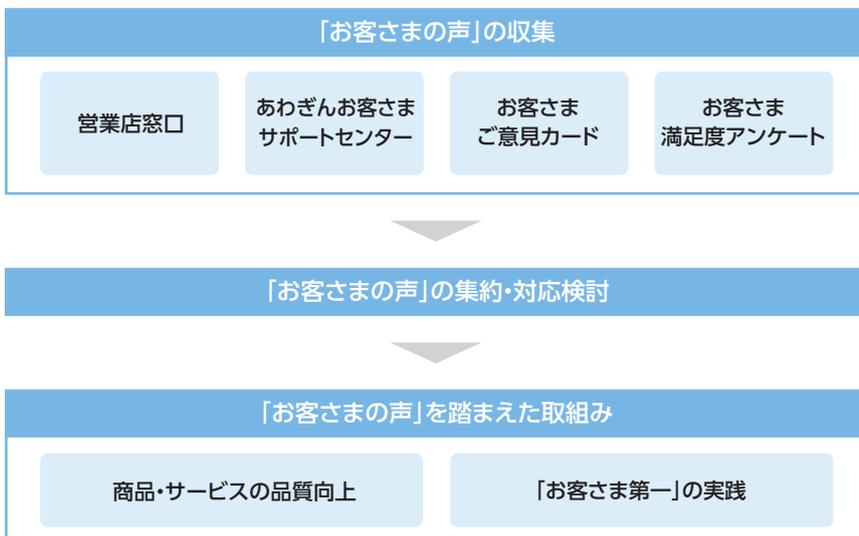
- 当行はお客さま第一を経営の基本とし、法令やルールを厳格に遵守し、社会規範に則り、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。また、お客さまの正当な利益の保護や利便性の向上に向けて積極的に取り組みます。
- 当行はお客さまへの説明を要するすべての取引や商品について、お客さまの知識、経験、財産の状況および投資目的等に照らし、お客さまのご理解を得られるよう適切な情報提供と商品説明を行います。
- 当行はお客さまからのお申し出に対しては迅速かつ適切にそして誠意をもって対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、お客さまの声を経営に反映します。
- 当行はお客さまの情報はお客さまの大切な財産と位置づけ、取得したお客さまの情報を適切に管理するため、組織的・人的・技術的な安全管理措置を講じ、お客さまの情報に対する不正なアクセス、情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等の防止に取り組めます。
- 当行が行う業務を外部業者に委託する場合は、委託先に対する必要かつ適切な管理を行います。
- 当行はお客さまの利益が不当に害されることのないよう、業務遂行にあたり利益相反の管理を適切に行います。



■ お客さま感動満足の創造を目指して

当行では経営方針の一つである「お客さま第一」を実践するため、お客さまからお寄せいただいたご意見・ご要望をもとにサービスの改善に取り組んでいます。これからもお客さまの声を経営に活かしていきます。

「お客さまの声」を活かす仕組み



金融ADR制度への対応

当行は、以下の指定紛争処理機関（指定金融ADR機関）と手続実施基本契約を締結しています。当行との取引に関するお問い合わせ・ご意見・苦情等につきましては、当行窓口のほか指定金融ADR機関もご利用いただけます。

（当行が契約する指定金融ADR機関）

全国銀行協会（銀行業務）

0570-017109 または 03-5252-3772

全国銀行協会相談室 受付時間
月～金曜日（祝日等除く）午前9時～午後5時

信託協会（信託業務）

☎ 0120-817335 または 03-6206-3988

信託相談室 受付時間
月～金曜日（祝日等除く）午前9時～午後5時15分

●金融ADR制度とは

金融分野における裁判外紛争解決制度（Alternative Dispute Resolution）のことです。訴訟に代わる、あっせん・調停・仲裁等の当事者の合意に基づく紛争解決方法であり、お客さまと金融機関との間で十分に話し合いをしても、問題が解決しないような場合に利用することが出来る制度です。

金融犯罪の防止に向けた取組み

マネー・ローンダリング／テロ資金供与防止

マネー・ローンダリング／テロ資金供与防止を金融機関のコンプライアンスの問題と位置づけています。また、犯罪組織による金融サービスの濫用を防止するため、「犯罪による収益の移転防止に関する法律」によるお客さまの本人確認や不正利用口座の取引停止措置などを厳格に実施しています。

振り込め詐欺被害者への対応

不正利用口座の取引停止をすみやかに行うとともに、「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」（振り込め詐欺救済法）に沿って、不正利用口座の消滅手続や被害に遭われた方への被害回復分配金の支払などを実施しています。

キャッシュカード・インターネットバンキングセキュリティ対策について

お客さまにキャッシュカード、インターネットバンキングを安心してご利用いただくために次のようなセキュリティ対策を実施しています。

キャッシュカード セキュリティ対策

- 指静脈生体認証機能付ICキャッシュカードを発行しています。
- ATMで1日あたりのご利用限度額の変更ができます。
- ATMで暗証番号の変更ができます。
- ATM画面上に、のぞき見防止の「遮光フィルター」を設置しています。
- 暗証番号を3回連続して間違った場合、カードが使用できなくなります。
- ATMご利用明細票の口座番号下6桁を非表示としています。

●被害補償について

	個人(個人事業主)のお客さま		法人のお客さま
	キャッシュカード	貸越専用 ローンカード	キャッシュカード・ 貸越専用ローンカード
偽造	原則、全額補償※1	最大100万円※2	最大200万円※2
盗難	原則、全額補償※1		
紛失等	最大200万円※2		
デビット取引			

◎個人のお客さまの盗難通帳についても原則全額補償します。

※1 お客さまの通帳・カード・暗証番号の管理状況により、補償額が減額される場合や補償されない場合もございます。

※2 当行所定の取引限度額を上限とします。

インターネットバンキング セキュリティ対策

- スパイウェア対策として、「ソフトウェアキーボード」を導入しています。
 - フィッシング詐欺対策として、「EV SSLサーバ証明書」を導入しています。
 - セキュリティレベルの高い「可変パスワード方式※」を採用しています。
 - ai-mo(個人向け)に合言葉による追加認証を導入しています。
 - 当行ホームページ上でウイルス対策ソフトを無償配布しています。
 - 取引をより安全にご利用いただくため、ワンタイムパスワードを導入しています。
- ※入力するパスワードの組合せを「ご利用カード」に記載の数字から選択する方式。
組合せはご利用の都度変更されます。

●被害補償について

個人向けインターネット・モバイルバンキング	原則全額補償
法人インターネットバンキング	年間最大3,000万円

※お客さまのパソコン・携帯電話の管理状況により、補償額が減額される場合や補償されない場合もございます。

金融犯罪の防止に向けた取組み



「特殊詐欺」 にご注意ください!!

●振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺被害からお客さまの大切な資産を守るため、ATM操作画面での注意喚起メッセージの表示や、窓口でのお声掛けを行っています。

●高齢のお客さまが窓口で高額現金をお引出しされる場合、「お振込み」や「自己宛小切手」の利用を推奨しています。

※自己宛小切手とは、銀行が自ら振出人兼支払人として発行する小切手のことです。特定の受取人名を小切手に記載する「記名式」とすることで、不正に小切手を取得した者に対して支払われる可能性は非常に低くなります。



万一被害に遭われた場合

あわぎんATMセンター
24時間・365日受付

☎0120-10-6135

ai-mo

(あわぎんインターネット・モバイルバンキング)

ai-mo 個人向け

平日(午前9時～午後5時)

☎0120-39-6263

(お客さまサポートセンター)

平日(上記以外の時間帯)および土・日・祝日

☎0120-10-6134

(あわぎんATMセンター)

ai-mo 法人向け

平日(午前9時～午後5時)

☎0120-81-1727

(お客さまサポートセンター)

平日(上記以外の時間帯)および土・日・祝日

☎0120-10-6134

(あわぎんATMセンター)

■ 地域に根ざした銀行として

■ 地域行事への積極的な参加



■ 安心してご利用いただくために

すべてのお客さまに安心してご利用いただくために、バリアフリーに向けた対応・店舗づくりを進めており、視覚に障がいのあるお客さまにもご利用いただける音声案内ATMを店舗内ATMのある全店に設置しています。

また、認知症サポーター養成研修を定期的開催するほか、サードピアアテンダント資格の取得を推進しています。



認知症サポーター研修



音声案内ATM



コミュニケーションボード

■ 良き企業市民として

「小さな親切」運動への積極的な取り組み

当行は「小さな親切」運動徳島県本部の事務局として、年2回の実行章贈呈式を開催するなど、「小さな親切」運動の普及・拡大に努めています。



とくしま農山漁村応援し隊への参加

当行は徳島県と「とくしま農山漁村協働パートナー」協定を締結し、農作業や文化活動など、さまざまなボランティア支援に積極的に取り組んでいます。



■ 地元サッカーチームを応援

当行は、サッカーJ2「徳島ヴォルティス」をユニフォームスポンサーとして応援しています。平成29年5月には「阿波銀行マッチデー」を開催するなど、スポーツ振興を図り、地域の活性化に向けて取り組んでいます。





LEDアート作品「Flowers in the Sandfall-Tokushima」

■「徳島LEDアートフェスティバル2016」に出展

昨年12月に開催された「徳島LEDアートフェスティバル2016」にLEDアート作品を出展しました。世界で活躍するデジタルアート集団「チームラボ」に制作を依頼した作品「Flowers in the Sandfall-Tokushima」を本店入口に常設展示しています。高さ5mを超える、つなぎ目の無い壮大なLEDパネルに、徳島の花々をモチーフとした映像が映し出されます。人と最先端テクノロジーが融合した体験を通して、新たな価値を感じていただけます。(徳島の花々は季節に応じて変化します)



■とくしまマルシェへの協力



毎月1回開催されている欧風産直市「とくしまマルシェ」の出店者の選定にあたっては当行の農業サポートチームから、特徴的な製品の生産者に関する情報提供を行っています。



■地域経済の分析・情報提供

公益財団法人徳島経済研究所は、当行の全額出資により昭和60年3月に設立されたシンクタンクで、地域経済の発展に役立つ研究活動や情報発信を積極的に行っています。当研究所は、調査・研究成果の実現にも努めており、「とくしまマルシェ」や「徳島LEDアートフェスティバル」は当研究所の提案により実現しました。



■災害時の緊急対応への取組み

当行は、地域のリーディングバンクとして、大規模災害等が発生した場合に、預金の払出しや資金決済など金融機能を維持できるよう危機管理態勢、業務継続態勢の強化を進めています。災害時等に迅速にお客さまへ金融サービスを提供できるよう今後も訓練を重ねるほか、地方公共団体等との連携を強化していきます。



災害対策訓練



移動店舗「あわぎん号」

関係各所との連携を強化

- ・平成26年 7月 四国4行による「大規模災害発生時の相互支援協定書」締結
- ・平成26年12月 じゅうだん会参加行による「災害時相互支援に関する協定書」締結
- ・平成27年 2月 徳島県および特定非営利活動法人アムダと「南海トラフ巨大地震等における医療救護活動に関する協定書」締結
- ・平成28年 3月 徳島県的美波町、牟岐町および海陽町と「災害発生時の移動金融サービス支援に関する協定書」締結
- ・平成28年 9月 徳島県海陽町で開催された「徳島県総合防災訓練」に参加

■ 青少年の育成について

■ 各種スポーツ大会を通して青少年の育成を支援

当行および公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団が主催する各種スポーツ大会の開催を通じて、青少年の健やかな育成を応援しています。



阿波銀カップ少年サッカー選手権大会



阿波銀行小学生軟式野球選手権大会



阿波銀行ジュニアソフトテニス大会

阿波銀行ミニバスケットボール選手権大会



スポーツ競技力・指導力向上をめざして

地元新聞社と共同で、徳島県内におけるスポーツ競技力・指導力向上を目的に「とくしまスポーツ懇話会」を設立しました。



■ 金融経済を楽しく学ぶきっかけに

当行職員による各種出前授業や、「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を開催しています。

また、高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」徳島大会の開催を通じて、金融経済を楽しく学ぶきっかけづくりを行っています。



■ 豊かな社会づくりのために

公益財団法人阿波銀福祉基金は、昭和51年の基金設立以来、徳島県内の児童福祉施設や保育園、高齢者や身体障がい者の方の福祉施設・団体に必要な備品や教材の寄付、施設の整備など幅広く助成を続けています。設立から平成28年度までの助成額は、735件・1億3,655万円となりました。



■人材育成について

環境変化に対応できる自律型人材を創造し、さらに地域に密着した高付加価値営業を実践してまいります。

当行は、「人材の育成」を経営方針の一つに掲げています。「長期人材育成計画」に当行の行員としてのめざすべき姿を明示し、人材開発制度を制定、行員の人材開発PDCAの実現によって、お客さまから信頼され、お客さまのニーズにお応えできる人材の育成に取り組んでいます。



1. 働くことを通じて自己を高めようと自ら考えて行動する行員
2. 高い人格と見識を備え、人間として魅力あふれる行員
3. 地域の発展とともに当行の成長に貢献する行員

集合研修

行内研修

徳島市上八万町の研修所では、各種研修会を開催し、行員の能力向上を図っています。

階層別研修会

新入行員研修会をはじめとして階層別に研修会を開催し、阿波銀行の行員としてふさわしい人格の形成と責任ある行動の実践を促しています。

職務別研修会

融資業務や各種商品知識の習得等に関する研修会を開催し、行員の知識や能力の向上を図っています。特に、地域密着型総合金融サービス業に必要なコンサルティング支援や問題解決型営業のできる人材を育成する研修会を集中的に開催しています。

行外研修

高度な専門知識を習得するとともに視野を広げるために、国内外の銀行や各種団体へ積極的にトレーニーを派遣しています。

自己啓発支援

能力開発に積極的に取り組む職場風土を醸成するため、eラーニングシステム・通信講座の受講、検定試験の合格や公的資格の取得をサポートしています。また、幅広い知識の習得をめざし、休日に自主参加研修会としてさまざまなテーマでセミナーを開催しています。

OJT体制

先輩行員からの直接指導や職場内での勉強会など、現場での能力開発体制を構築しています。指導役の行員の教育も行い、上司も部下も双方向で働きかけ、お互いに成長する「人材開発」の実現を図っていきます。

■店舗の新築・移転

高松支店

平成28年12月5日 移転

高松支店は現店舗の老朽化に伴い、新店舗へ移転しました。新店舗では、お客さまにゆとりと落ち着いた雰囲気の中でご相談いただけるよう、ロビースペースの



ロビースペース

拡充、個室型相談ブースや応接室の増設など、コンサルティング機能を強化した店舗レイアウトとなっています。

牟岐支店

平成29年2月13日

新築移転

牟岐支店は現店舗の老朽化に伴い、国道55号線沿いの新店舗へ移転しました。新店舗では、すべての窓口をローカウンターとするなど、すべてのお客さまに安心してご利用いただけるよう、バリアフ



リー対応の店舗レイアウトとなっています。

良き「パートナー」をめざして ～ライフステージに応じたサービス～

■ 「お客さま本位の業務運営」に関する取組み方針

当行は、お客さまの安定的な資産形成の実現をサポートするため、金融商品販売に関する業務において、お客さま本位の業務運営を実践する以下の基本的な方針を制定しています。

【基本方針】

当行は、伝統的営業方針「永代取引」の考え方を全役職員が共有し、お客さまの安定的な資産形成の実現をサポートするため、金融商品販売に関する業務において、「お客さま本位の業務運営」を実践してまいります。

【取組方針】

1. お客さまの最善の利益の追求
2. お客さま本位の情報提供とコンサルティングの実践
3. お客さま本位の販売態勢の整備

就職



結婚 子どもの誕生



将来に備えて貯蓄を始めたい

- 定期預金 ●投信積立 ●確定拠出年金
- 外貨積立 ●給与振込 ●個人年金保険

窓口に行く時間がない

- ai-mo
(個人向けあわぎんインターネット・
モバイルバンキング)

窓口に行く時間がない方には、24時間365日お取引が可能な「ai-mo」が便利です。

- あわぎん plus card

お取引内容に応じて当行ATMの時間外手数料が無料になる「あわぎん plus card」をご利用ください。



旅行代金や結婚資金など自由に利用したい

- あわぎんワイドローン(フリープラン)

万一の際に備えたい

4つのリスクに合ったプランをご提案いたします。



子どもの将来に備えたい

- 学資保険 ●たまるくん(子育て応援タイプ)

- NISA(ジュニアNISA)

少額投資非課税制度の口座開設手続きも受付けています。

休日にもご相談いただけます。

あわぎんローンプラザ(新町プラザ出張所)

住宅ローンを中心とした各種個人向けローンに関するご相談からお申込みまでの窓口として、土・日・祝日も営業しています。

フリーダイヤル
0120-106-023

営業時間 月～金曜日:午前9時～午後5時
土・日・祝日:午前10時～午後5時
※ただし、年末年始(12月31日～1月3日)、ゴールデンウィーク(5月3日～5日)および阿波おどり期間中の土、日曜日は休業いたします。

サービス内容 ●住宅ローンを中心とした個人ローンの相談および受付

あわぎん証券・保険プラザ(新町・鳴門・鳴門東)

資産運用・株式売買のご注文受付や、年金などライフプラン全般に関するご相談から申込みまでの窓口として、営業しています。

フリーダイヤル
0120-8388-05

窓口営業時間 月～金曜日:午前9時～午後3時
TEL受付時間 月～金曜日:午前8時45分～午後4時45分

サービス内容 ●資産運用・年金受給に関する相談および受付
●生命保険・医療保険等に関する相談および受付
●株式の売買に関するご相談および受発注 等

あわぎんゆめプラザ(ゆめプラザ出張所)

保険・住宅ローンを中心に、お客さまのライフプラン全般に関するご相談からお申込みまでの窓口として、土・日・祝日も営業しています。

TEL 088-692-8899

営業時間 土・日・祝日を含む毎日 午前10時～午後6時
※ただし、「ゆめタウン徳島」の休業日、年末年始(12月31日～1月3日)を除きます。

サービス内容 ●生命保険・医療保険・がん保険・学資保険の相談および受付
●住宅ローンを中心とした個人ローンの相談および受付
●資産運用・年金受給に関する相談および受付 等



※各プラザは、通常の入出金業務・納税・振込みなどのお取扱いはいたしません。



マイホーム購入
自宅のリフォーム

子どもの進学



マイホームの夢をかなえたい

●住宅ローン

マイホームの取得やリフォームなど住宅取得に関する費用にご利用いただけます。その他、35年固定金利商品も取り揃えています。

●長期固定金利型住宅ローン(フラット35)

●火災保険、地震保険 ●家計の見直し相談



リフォーム資金が必要

●住まいのリフォームローン

●ソーラーローン

住宅購入後の各種メンテナンス資金としてご利用いただけます。



子どもの進学準備、マイカーの購入、家族旅行に行ってみたい など

●あわぎんパワーアップカードローン

●あわぎんワイドローン各種プラン

自動車の購入や教育資金など、お客さまの目的にあわせてご利用いただける各種プランをご用意しています。



豊かなセカンドライフに備えて
資産運用を考えたい

多種多様なニーズにお応えし、お客さまの資産づくりやさまざまなリスクの備えに適した商品ラインアップの充実に努めています。

- 投資信託、外貨預金、国債
- 投信積立、外貨積立
- 個人年金保険、終身保険 など
- 資産運用セミナー



お客さまの幅広いニーズにお応えするためさまざまな講師をお迎えし、参加費無料の資産運用セミナーを開催しています。



資産は増やしたいが、
あまりリスクをとりたくない

お客さまの安定的な資産づくりをサポートするため、リスク分散方法などご意向にそった提案を行っております。

〔一般的なリスク分散のポイント〕

- POINT 1 「資産の分散」
複数の異なる金融商品を組み合わせる
- POINT 2 「時間の分散」
金融商品を購入する時期を分散
- POINT 3 「地域の分散」
複数の地域や通貨を組み合わせる
- POINT 4 「長期投資」
長い目で見た運用



資 産 形 成



アイモ ai-mo あわぎんインターネット・モバイルバンキング

休日や夜間でも、携帯電話やパソコンから残高照会やお振込み、お振替などのサービスがご利用いただけます。

24時間365日利用可能

サービス利用料無料

■振込手数料がお得

店舗窓口でのお振込みより振込手数料がお得です。阿波銀行宛のお振込みなら手数料無料!

■投資信託の購入

インターネットバンキングで投資信託の購入や解約のお手続きが可能です。購入時の申込手数料は店舗窓口取扱分と比べて20%お得です。

■セキュリティ強化

従来のセキュリティに加え、合言葉による追加認証・ワンタイムパスワードを導入し、セキュリティ強化を図っています。また、当行ホームページ上で、ウイルス対策ソフトの無償配布を行っています。

■外貨預金・口座開設

外貨預金(普通、積立、定期)口座開設から、入出金振替、公表為替相場、金利照会などご利用いただけます。取扱通貨は米ドル、ユーロ、豪ドルの3種類です。

当行宛振込	店舗窓口ご利用	ATMご利用 カード・通帳振替の場合	ai-mo ご利用時
3万円未満	324円	108円	無料
3万円以上	540円	216円	無料



あわぎんホームページ

<http://www.awabank.co.jp/>

お問い合わせは

フリーダイヤル 0120-39-6263

受付時間/平日:午前9時～午後5時

年金はいつから、いくらぐらい受取ることができるの？

●年金相談会

「年金受給のための手続きは?」「年金はいつからいくらぐらい受取ることができるの?」などの疑問にお答えするため、年金相談会を開催しています。

年金の“お受取り”または“ご予約”いただいたお客さまへの特典

●やすらぎ倶楽部

新規ご入会プレゼント

年金受取の予約や新規受取開始時、プレゼントをお渡します。

お誕生日プレゼント

毎年のお誕生日にプレゼントをお渡します。

その他特典

温泉や各種店舗の優待券がついた、ゆとりクーポンを毎年お送りします。

相続のために、どのような準備をしておけばいいの？

●相続セミナー

「大切な人に財産を残してあげたい」「どのような準備をしておけばいいの?」など、相続に関するご相談にお応えします。

●一時払終身保険

一時払終身保険など、万一の時に備えた商品を幅広く取扱っています。



遺言書を作成したい

●遺言信託・遺産整理業務のご紹介

孫へ教育資金を贈与したい

●あわぎん教育資金贈与専用口座 ふれ藍

「あわぎん教育資金贈与専用口座 ふれ藍」は、お孫さま等への教育資金贈与を支援します。お孫さま等おひとりにつき、教育資金1,500万円(学校等以外へのお支払いについては500万円)までの贈与が非課税となります(一定の要件を満たす必要があります)。

セカンドライフ



相続



電話にてお問い合わせいただけます。

あわぎんお客さまサポートセンター

お客さまと阿波銀行を声で結ぶ双方向のアクセスチャネルとして、新サービス・お役に立つ情報のご案内を行っています。また、各種商品・サービスについてののご照会・ご相談窓口として営業しています。

フリーダイヤル **0120-39-8689**

営業時間 土・日・祝日を含む毎日 午前9時～午後5時
※ただし、年末年始(12月31日～1月3日)、ゴールデンウィーク(5月3日～5日)を除きます。

阿波銀行保険コールセンター

ライフスタイルの変化に合わせた保険のご相談はお任せください。お電話による医療・がん保険の資料請求・お申込みまでの窓口として営業しています。(通販専用)

フリーダイヤル **0120-888-522**

受付時間 平日、土・日・祝日:午前10時～午後7時
※年末年始、ゴールデンウィークなど所定の休業日がございます。



商品・サービス

■ 主要な業務の内容

1. 預金業務

(1) 預金

当座預金、普通預金、無利息普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っています。

(2) 譲渡性預金

譲渡可能な預金を取扱っています。

2. 貸出業務

(1) 貸付

手形貸付、証書貸付および当座貸越を取扱っています。

(2) 手形および電子記録債権の割引

銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取扱っています。

3. 商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っています。

4. 有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しています。

5. 内国為替業務

送金為替、当座振込および代金取立等を取扱っています。

6. 外国為替業務

輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を取扱っています。

7. 社債の受託等

社債の受託業務等を行っています。

8. 信託業務

公益信託

教育助成、国際研究協力、自然環境の保全等の公益を目的として設定する信託です。この信託は、金銭信託・有価証券の信託等の形態により受託しています。

9. 附帯業務

(1) 代理業務

- ① 日本銀行代理店および日本銀行歳入代理店
- ② 地方公共団体の公金取扱業務
- ③ 勤労者退職金共済機構等の代理店業務
- ④ 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
- ⑤ 日本政策金融公庫等の代理貸付業務
- ⑥ 信託代理店業務
- ⑦ 損害保険窓口販売業務
- ⑧ 生命保険窓口販売業務

(2) 保護預りおよび貸金庫業務

(3) 有価証券の貸付

(4) 債務の保証(支払承諾)

(5) 金の売買

(6) 公共債の引受

(7) 国債等公共債および投資信託の窓口販売

(8) 金融商品仲介業務

(9) M&A仲介業務

(10) 確定拠出年金運営管理業務

(11) リース仲介業務

(12) 遺言信託・遺産管理媒介業務

ai-mo(個人向け)サービス概要

サービスメニュー	ご利用可能端末			ご利用可能時間 ^(※1)			
	パソコン タブレット	スマートフォン	携帯電話	平日(月～金)	土・日・祝日		
照会	残高照会	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00	
	入出金明細照会	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00	
振込・振替	即時	振替	●	●	●	8:00～21:00	8:00～21:00
		振込	●	●	●	8:00～21:00 (当座預金宛は 8:00～15:00)	—
	予約	振替	●	●	●	8:00～15:00	—
		振込	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
		振込	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
		振替	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
		振込	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	振込	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00	
定期預金・財形預金	定期預金	預入	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
		引出	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	一般財形預金	引出	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	明細照会・金照会等		●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金	預入・引出・振替	●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
外貨預金	外貨普通預金	預入・引出	●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金	受付	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	外貨普通預金		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
投資信託	購入 ^(※2)		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	解約・買取		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	残高照会・明細照会等		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
投信積立	新規申込		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	契約内容変更・中止		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	残高照会・明細照会等		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00
ai-mo通帳	切替申込		●	—	—	0:00～6:00・8:00～24:00	0:00～24:00
	入出金明細照会		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	電子交付サービス(申込・閲覧)		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	住所変更受付		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
ローン	借入内容照会		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	一部繰上返済		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
料金払込	メッセージ・電子メール通知		●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	税金・各種料金の払込 ^(※3)		●	●	●	8:00～21:00	8:00～21:00
	結果照会		●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00
	ご利用口座追加受付		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	振込・払込限度額の引下げ・照会		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
	メンテナンス機能		●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00

あわぎん外為Webサービス概要

ご利用いただける方	法人または個人事業主のお客さま
ご利用可能時間	平日 8:00～23:00(土・日・祝日・12/31-1/3を除きます) *各サービス毎に受付時限があります。
ご利用可能口座	普通預金、当座預金、外貨普通預金

サービスメニュー	受付時限	お取扱い通貨
外国送金受付	海外向け 外貨建:指定希望日の9:30 円貨建:指定希望日の前営業日の16:00 国内向け 全通貨:指定希望日の前営業日の16:00	米ドル、日本円、ユーロ、加ドル、豪ドル、スイスフラン、人民元他 全29通貨
輸入信用状受付	指定希望日の10:00	米ドル、日本円、ユーロ、加ドル、人民元
外貨預金振替受付	振替日の15:00	米ドル、ユーロ、加ドル、豪ドル、スイスフラン、人民元
為替予約受付	為替予約締結日の16:30 リブオーダー申込日の16:30	米ドル、ユーロ、加ドル、豪ドル、スイスフラン (リブオーダーは、米ドル、ユーロ)

(注)1. ご契約者とご依頼人が同一で無い場合はお取扱できません。 2. 指定希望日での外国送金や輸入信用状の発行・変更を確約するものではありません。 3. 輸入信用状受付・為替予約受付サービスは、事前に所定の審査手続きが必要となります。審査の結果によりご希望に添えない場合がございますので予めご了承ください。

ai-mo(法人向け)サービス概要

サービスメニュー	平日(月～金)		土・日・祝日		
	ご利用可能時間	承認時限	ご利用可能時間 ^(※1)	承認時限	
照会	残高照会	8:00～21:00	—	8:00～21:00	—
	入出金明細	8:00～21:00	—	8:00～21:00	—
振込・振替	即時	振替	8:00～21:00 (当座預金の 入出金は15:00まで)	承認不要	承認不要
		振込	8:00～21:00 (当座預金の 入出金は15:00まで)	承認不要	承認不要
	予約	振替	0:00～24:00	0:00～24:00	承認不要
		振込	0:00～24:00	0:00～24:00	承認不要
一括伝送	即時	振込	8:00～21:00 (当座預金に係るお振込は15:00まで)	—	—
		振替	8:00～21:00 (当座預金に係るお振込は15:00まで)	—	—
	予約	振込	8:00～15:00	—	—
		振替	8:00～15:00	—	—
でんさい ^(※4)	7:00～24:00	7:00～24:00	7:00～24:00	7:00～24:00	
一括伝送	総合振込	0:00～24:00	振込指定日の 前営業日 16:00まで	0:00～24:00	—
	給与振込	0:00～24:00	振替指定日の 2営業日前 16:00まで	0:00～24:00	—
	地方税納入	0:00～24:00	納付日の 4営業日前 16:00まで	0:00～24:00	—
	自動集金	0:00～24:00	振替指定日の 2営業日前 16:00まで	0:00～24:00	—
	ワイドネット回収	0:00～24:00	[一般回収型] 振替指定日の 8営業日前 16:00まで [クイック回収型] 振替指定日の 7営業日前 16:00まで	0:00～24:00	—
料金払込 ^(※3)	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	
振込・払込限度額引下げ・照会	0:00～24:00	—	0:00～24:00	—	
メッセージ・電子メール通知	0:00～24:00	—	0:00～24:00	—	

※1. 保守点検のため、毎週日曜日午前0時～午前6時の時間帯はサービスを停止させていただきます。(定期休止時間帯)
 ※2. システムメンテナンスのため、毎日午前3時～午前6時の時間帯は購入を休止させていただきます。
 ※3. 収納機関の取扱休止等により、上記時間帯であってもサービスがご利用いただけない場合があります。
 ※4. 毎月第2土曜日および12/31～1/3、5/3～5/5はご利用いただけません。

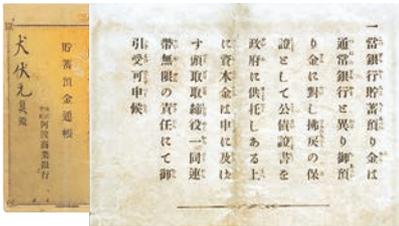
当行の概況

～これからも地域とともに歩み続けます～

古来より阿波藍の生産地として栄えてきた徳島において、明治12年、藍の豪商久次米兵次郎により、全国で5番目の私立銀行として「久次米銀行」が設立されました。

当行は、「久次米銀行」の関西部を継承して明治25年に設立された「合名会社阿波銀行」を前身銀行に、明治29年6月徳島市西船場町に「株式会社阿波商業銀行」として設立されました。以来、昭和3年に経営危機に陥った「徳島銀行」の営業権を譲受け、次いで昭和9年に「二木銀行」、昭和18年に「阿波貯蓄銀行」を吸収合併し、昭和39年に商号を「株式会社阿波銀行」と改称して現在に至っています。

この間、明治・大正・昭和の幾多の金融危機にも耐え、行是「堅実経営」のもと、ふるさとと歩む地域の中核金融機関として確固たる基盤を築いてまいりました。



明治33年当時の当行の貯蓄預金通帳には『…頭取・取締役一同連帯無限の責任にて御引受申すべく候』と記されていました。この精神は行是「堅実経営」のなかに今なお継がれています。



明治末期の引札
(ちらし)



創業当時の本店



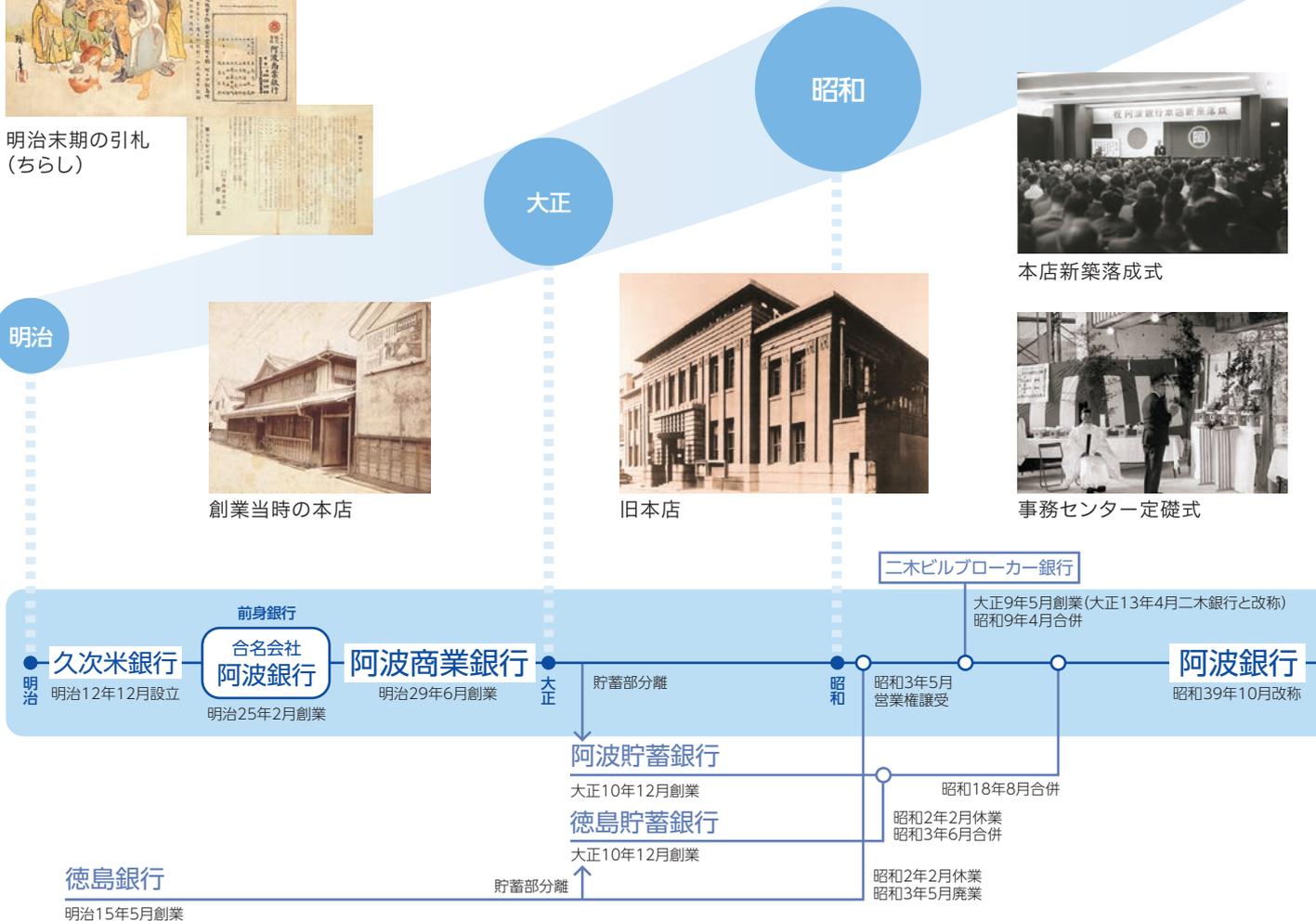
旧本店



本店新築落成式



事務センター定礎式





現本店

平成



鴨島センター



研修所

創業100周年

平成8年6月

120周年

平成28年6月

平成

■ 当行の歩み

- 明治29年 6月 株式会社阿波商業銀行創業
- 31年10月 貯蓄銀行条例に準拠して貯蓄部兼営を開始
- 大正10年12月 貯蓄部を分離し、阿波貯蓄銀行として創業
- 昭和 2年 3月 (旧)本店新築落成
- 3年 5月 徳島銀行の営業権譲受
- 9年 4月 二木銀行を買収合併
- 18年 8月 阿波貯蓄銀行を吸収合併
- 19年 1月 預金1億円突破
- 26年 7月 資本金1億円に増資
- 35年12月 外国為替業務取扱開始
- 39年10月 阿波銀行に行名変更
- 40年 9月 東京支店開設
- 41年 7月 本店新築落成
- 41年10月 資本金10億円に増資
- 43年 3月 預金1千億円突破
- 48年 1月 事務センター竣工
- 48年 4月 東京・大阪両証券取引所第2部上場
- 49年 2月 東京・大阪両証券取引所第1部上場
- 50年 2月 オンラインスタート
- 51年 9月 財団法人阿波銀福祉基金設立
- 52年 3月 総預金5千億円突破
- 56年 3月 研修所落成
- 56年 4月 海外コルレス業務開始
- 58年 4月 公共債の窓口販売業務取扱開始
- 59年 7月 ファームバンキング開始
- 59年 9月 総預金1兆円突破
- 60年 3月 財団法人徳島経済研究所設立
- 60年 6月 債券ディーリング業務開始
- 60年 8月 海外コルレス包括承認取得
- 61年 4月 資本金83億円に増資
- 62年11月 国内コマース・ペーパーの取扱開始
- 63年 1月 第1回無担保転換社債発行
- 63年 6月 担保付社債信託法に基づく受託業務開始
- 63年 7月 徳島市指定金融機関となる
- 平成元年10月 資本金152億円に増資
- 2年10月 サンデーバンキング開始
- 5年 3月 新事務センター「鴨島センター」竣工
- 6年 1月 信託業務取扱開始
- 7年 1月 新総合オンラインシステム稼働
- 7年 1月 財団法人阿波銀行学術・文化振興財団設立
- 8年 2月 CD・ATMの祝日稼働開始
- 8年 6月 創業100周年
- 9年 2月 阿波銀行新町ビル竣工
- 9年 4月 資本金234億円に増資
- 10年 3月 県内店舗網200店達成
- 10年 5月 総預金2兆円突破
- 10年12月 証券投資信託の窓口販売業務開始
- 12年11月 第1回無担保普通社債発行
- 13年 4月 住宅ローンご利用者向け長期火災保険の窓口販売業務開始
- 14年 6月 執行役員制度導入
- 14年10月 個人年金保険の窓口販売業務開始
- 16年 1月 「じゅうだん会」共同版システム稼働
- 16年12月 証券仲介業務開始(平成19年9月から金融商品仲介業務)
- 19年12月 医療・がん保険の窓口販売業務開始
- 24年10月 リース仲介業務開始
- 25年 1月 CD・ATMの全日稼働開始
- 26年 7月 阿波銀行コンサルティング株式会社設立
- 27年 1月 本部機能2拠点化
- 28年 4月 移動店舗「あわぎん号」導入
- 28年 6月 創業120周年
- 28年11月 包括提携「四国アライアンス」締結
- 29年 6月 創業121周年

はじめに

財務情報

事業活動

商品・サービス

阿波銀行について

■ 役員一覧

取締役



取締役会長

おかだ よしふみ
岡田 好史



代表取締役頭取

ながおか すずむ
長岡 奨



代表取締役副頭取

おおにし やすお
大西 康生



常務取締役

ふくなが たけひさ
福永 丈久



常務取締役

みよし としゆき
三好 敏之



取締役

かまだ としひろ
鎌田 稔弘



取締役(社外取締役)

そのき ひろし
園木 宏



取締役(社外取締役)

あさおか けんぞう
浅岡 建三

監査役



常任監査役

かい で たか お
海出 隆夫



常勤監査役

こ まつ やす ひろ
小松 康宏



監査役(社外監査役)

にし の たけ あき
西野 武明



監査役(社外監査役)

よね ばやし あきら
米林 彰



監査役(社外監査役)

あらか き こう じ ろう
荒木 光二郎

執行役員

常務執行役員(本店営業部長)

いし もと ひろし
石本 宏

執行役員(東京支店長)

あべ たかし
阿部 丘

執行役員(リスク統括部長)

やま した まさ ひろ
山下 真弘

執行役員(鳴門支店長兼大津支店長)

てら にし とおる
寺西 徹

執行役員(審査部長)

い どう てる あき
伊藤 輝明

常務執行役員(管理本部長)

やま と し ろう
大和 史郎

執行役員(大阪支店長)

み うら あつ のり
三浦 淳典

執行役員(阿南支店長兼見能林支店長)

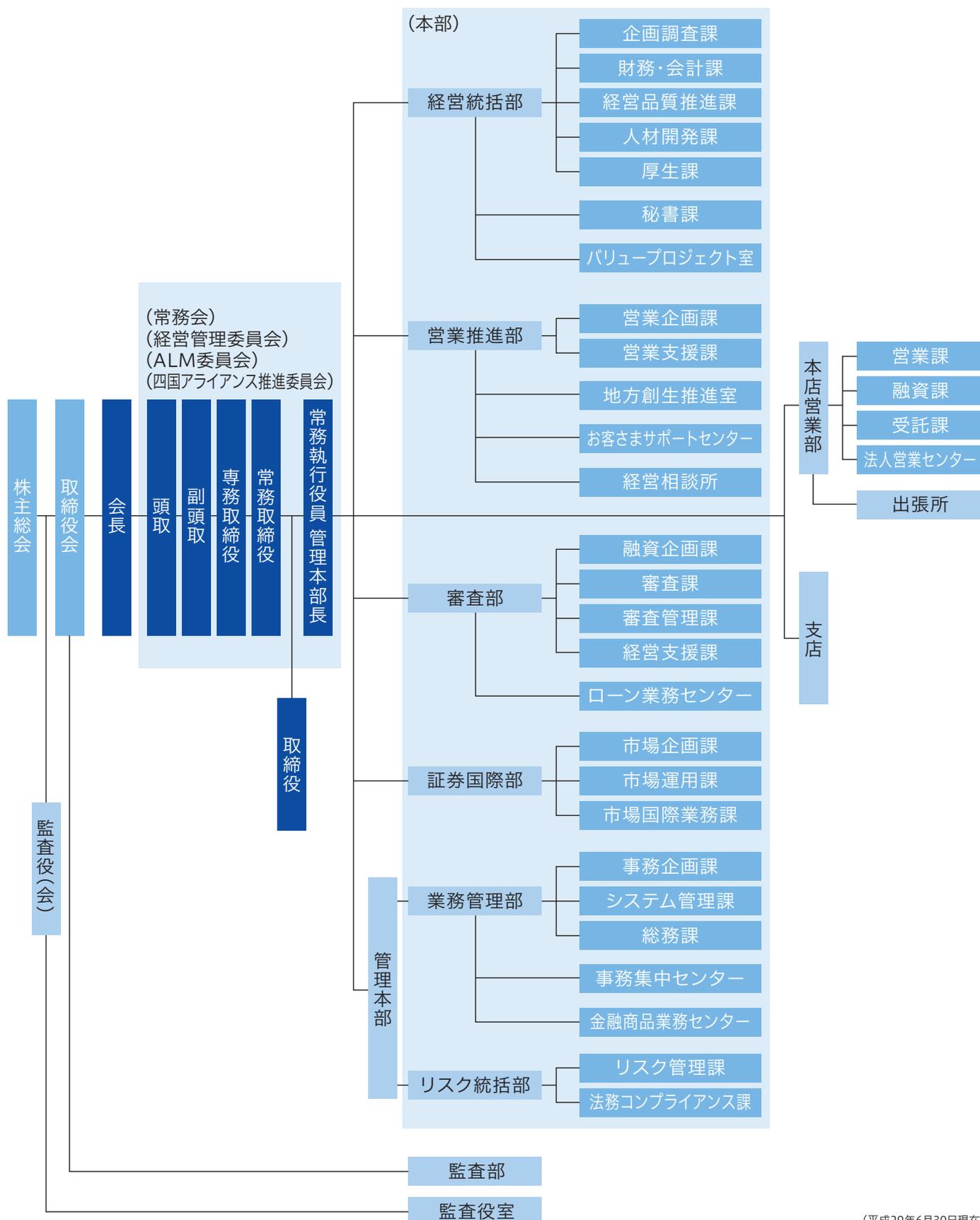
はま むら たか のり
浜村 孝典

執行役員(経営統括部長兼バリュープロジェクト室長)

にし ひろ かず
西 大和

(平成29年6月30日現在)

■ 組織図



(平成29年6月30日現在)

■あわぎんグループの組織図

(平成29年6月30日現在)

あわぎんグループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスを提供しております。



注)上記のほか、「あわぎん6次産業化投資事業有限責任組合」(非連結子会社)および「あわぎん地方創生投資事業有限責任組合」(関連会社)を有しております。

■あわぎんグループの状況

(平成29年6月30日現在)

会社名	所在地・電話番号	設立年月日・資本金又は出資金
阿波銀ビジネスサービス株式会社	〒770-0901 徳島市西船場町二丁目24番地の1 (088)623-3131	昭和55年3月15日 80百万円
阿波銀コンサルティング株式会社	〒770-0834 徳島市元町一丁目7 (088)654-0321	平成26年7月31日 100百万円
阿波銀保証株式会社	〒770-0912 徳島市東新町一丁目29番地 (088)623-3617	昭和50年6月2日 110百万円
阿波銀カード株式会社	〒770-0901 徳島市西船場町二丁目12番地 (088)653-8100	平成2年2月6日 150百万円
阿波銀リース株式会社	〒770-0912 徳島市東新町一丁目29番地 (088)622-2424	昭和49年1月23日 180百万円

■ 内部統制システムの整備の状況について

当行は、「内部統制システム構築の基本方針」を以下のとおり定め、当行グループ全体の内部統制の整備・強化に努めております。

内部統制システム構築の基本方針

当行は、「内部統制システム構築の基本方針」(注)を以下のとおり定める。本決議に基づく内部統制システムの構築は、当行の行是「堅実経営」を具現するものであり、必要ある場合は速やかに見直すものとする。

(注) 会社法第362条第5項に基づく「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務並びに当該株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要な体制」をいう。

1. 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

(会社法第362条第4項第6号および会社法施行規則第100条第1項第4号)

- (1) 全役職員に法令・定款の遵守を徹底するため、「コンプライアンス基本方針」を定め、リスク統括部を統括部門とするコンプライアンス態勢を整備する。
- (2) 経営管理委員会を設置し、コンプライアンスに関する重要事項の協議・決定やコンプライアンス態勢の実効性の検証等を行う。
- (3) 事業年度ごとに当行グループ全体の「コンプライアンス・プログラム」を策定し、進捗状況を管理・検証することにより、継続的なコンプライアンス態勢の充実・強化を図る。
- (4) コンプライアンスの遵守基準として「職員倫理」を制定し、全役職員に銀行の社会的使命の自覚を促し、信用保持に向けた意識づけを図る。また、法令・定款等に違反する行為を発見した場合の報告体制として内部通報制度を構築する。
- (5) 財務報告に係る内部統制および開示統制に関する態勢を整備する。
- (6) 反社会的勢力に対する基本方針を定め、反社会的勢力との関係を遮断し、被害を防止するための態勢を整備する。
- (7) 内部統制の妥当性と有効性を監査する部門として監査部を設置し、当該部門の陣容・専門性に十分配慮した人員配置を行う。
- (8) 監査部は、「内部監査基本方針」に基づき、コンプライアンス態勢の適切性を検証する。また、検証結果を定期的または必要に応じて取締役会に報告する。

2. 取締役の職務執行に係る情報の保存および管理に関する体制

(会社法施行規則第100条第1項第1号)

- (1) 取締役の職務の執行に係る情報の取扱いは、行内の各規程に従い、①取締役会、常務会、経営管理委員会、ALM委員会、四国アライアンス推進委員会等の重要な会議の議事録、②立案書、③取締役を最終決裁者とする契約書類、④その他取締役の職務執行に関わる書類等を適切に保存および管理(廃棄を含む)し、閲覧可能な体制を維持する。
- (2) 「情報資産管理基本規程」、顧客情報保護に関する規程等を制定し、法令等遵守と信用の保持のため厳正な情報管理態勢を構築する。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(会社法施行規則第100条第1項第2号)

- (1) 統一かつ網羅的なリスク管理統括部門としてリスク統括部を設置する。
- (2) リスク管理の基本である「統合的リスク管理方針」に基づき、「統合的リスク管理規程」およびリスクカテゴリーごとに「リスク管理規程」を制定し、各リスク管理部門が当該リスクを管理する。
- (3) 経営管理委員会およびALM委員会を設置し、リスク管理に関する重要事項の協議・決定やリスク管理態勢の実効性の検証等を行うとともに、市場環境の変化によるリスクの変化を把握し、資産・負債の総合的管理を実施する。
- (4) 事業年度ごとに当行グループ全体の「リスク管理プログラム」を策定し、進捗状況を管理・検証することにより、継続的なリスク管理態勢の充実・強化を図る。
- (5) 「緊急事態管理規程」を制定するとともに、災害・障害等の発生時に備えて、業務継続計画を含む対応マニュアルを整備することにより、当行グループ全体で危機管理体制を構築する。
- (6) 監査部は、「内部監査基本方針」に基づき、リスク管理態勢の適切性を検証する。また、検証結果を定期的または必要に応じて取締役会に報告する。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第1項第3号)

- (1) 経営戦略、個別の業務戦略および各種リスク管理等に関する事項を協議する機関として、常務会、経営管理委員会、ALM委員会、四国アライアンス推進委員会および経営会議を設置する。
- (2) 取締役会は、代表取締役およびその他の業務を執行する取締役ならびに執行役員に職務分掌に従い、職務執行を行わせる。
- (3) 適正な自己資本維持による健全性と株主価値向上を勘案し、当行グループ全体の経営計画および業務運営計画の策定を行う。
- (4) 重要な業務執行として、「取締役会規則」に付議事項を定め、これを遵守し、審議の過程においては善管注意義務および忠実義務に基づき意思決定を行うものとする。
- (5) 日常の職務遂行に際しては、「内規」、「職務権限規程」等に基づき権限の委譲を行い、各責任者が委譲された権限を行使し、適切に業務を遂行する。

5. 当行および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

(会社法施行規則第100条第1項第5号)

- (1) 当行は、「内部統制システム構築の基本方針」に従い、グループ全体でのガバナンス態勢、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢を確立する。
- (2) 取締役会は、当行がグループ経営を行うにあたっての基本的事項を定めた「グループ会社管理規程」を制定し、グループ連結経営の効率化と適正化を図る。
- (3) 当該規程に基づき、四半期ごとに子会社による業況報告会を開催し、経営内容の把握とリスク情報の共有化を行う。
- (4) 各子会社にコンプライアンス委員会およびコンプライアンス統括部門を設置し、コンプライアンス態勢を構築する。
- (5) 当行グループ内の取引は、法令、社会規範等に照らし適切な条件で行うものとする。
- (6) 子会社のガバナンス強化のため、当行取締役・監査役が子会社の監査役に就任する。また、業務の執行状況の適正性を監査するために監査部による監査を行う。
- (7) 当行と子会社との間における不適切な取引または会計処理を防止するため、リスク統括部は、子会社のコンプライアンス統括部門等と十分な情報交換を行う。
- (8) 法令等に違反する行為を発見した場合の報告体制として、各子会社に内部通報制度を構築する。

6. 監査役職務を補助すべき使用人を置くことならびに当該使用人の取締役からの独立性および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

(会社法施行規則第100条第3項第1号、第2号および第3号)

- (1) 監査役職務を補助すべき部署として監査役室を設置し、専任の職員を1名以上配置する。
- (2) 監査役室付職員の任命・異動については、監査役会と事前に協議する。
- (3) 当該職員の人事考課は、常勤監査役が行う。
- (4) 当該職員は、当行の業務執行に関わる役職を兼務せず、監査役の指揮命令下で職務を遂行する。

7. 当行および子会社の役職員が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

(会社法施行規則第100条第3項第4号)

- (1) 当行および子会社の役職員は、取締役会その他の会議において業務執行状況およびその他の必要な情報提供を行う。
- (2) 当行および子会社の役職員は、監査役に対し次に掲げる事項について速やかに報告を行う。

- ① 取締役の不正の行為または法令・定款に違反する事実
 - ② 職員の法令違反または重大な規程違反
 - ③ 内部通報制度の運用および通報の内容
 - ④ 重大な顧客情報漏えい事件
 - ⑤ 重大な影響の見込まれるシステムトラブル、事務事故、係争事件、大口倒産の発生
 - ⑥ 内部統制システム上の重大な欠陥の発見
 - ⑦ 子会社の経営に重大な影響を及ぼす可能性のある事項
 - ⑧ 経営方針および経営計画に関する事項
 - ⑨ 業績および業績予想その他重要な情報開示の内容
 - ⑩ 重要な会計方針、会計処理・記載方法の変更
 - ⑪ その他経営に重大な影響を及ぼす可能性のある事項
- (3) 当行および子会社の役職員は、監査役が監査に必要な決裁文書等を、常時閲覧できる体制をとる。

8. 報告者が監査役への報告を理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第3項第5号)

監査役に対し上記7.(2)①～⑪の報告を行った当行および子会社の役職員が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けることを禁止し、その旨を当行および子会社の役職員に周知徹底する。

9. 監査役職務の執行について生ずる費用の前払または償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項

(会社法施行規則第100条第3項第6号)

監査役がその職務の執行について、当行に対し、会社法第388条に基づく費用の前払等の請求をしたときは、経営統括部において審議の上、当該請求に係る費用または債務が当該監査役職務の執行に必要でないことを証明した場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理する。

10. その他監査役職務の執行が実効的に行われることを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第3項第7号)

- (1) 代表取締役は、監査役と定期的な意見交換を行い、意思疎通を図る。
- (2) 監査役とリスク統括部・監査部・会計監査人が情報交換を行い、緊密に連携できる体制を構築する。
- (3) 監査役会は、監査に必要なときは、独自に弁護士、公認会計士、コンサルタント等の専門家と契約を行うことができる。

■ コンプライアンス態勢について

銀行は、金融機能を通じて、経済、社会の発展に貢献するという公共的、社会的使命を担っています。こうした使命を全うするには、業務の健全かつ適切な運営と社会からの信頼を確立しなければなりません。銀行として公共的、社会的使命を遂行し、お客さまの信頼にお応えするには、コンプライアンスの徹底が必要不可欠です。コンプライアンスとは、一般的に法令等遵守と訳されていますが、当行では、法令のみならず社会規範、行内規則なども含めたものとして幅広くとらえ、コンプライアンスの充実・強化に取り組んでいます。

■コンプライアンス態勢の整備

リスク統括部にてコンプライアンス全般を統括するとともに、コンプライアンスに関する重要事項を協議・決定する全行的機関として、経営管理委員会を設置しています。また、部店長をコンプライアンス責任者、次席者をコンプライアンス担当者として全部店に配置するなど、コンプライアンス態勢を整備しています。

■コンプライアンスの徹底

コンプライアンスの基本方針、遵守基準、規程を制定し、職員の公私両面にわたるコンプライアンスの徹底を図っています。また、職員のコンプライアンスに対する理解を深めるために、コンプライアンス・マニュアルを発行し、各店舗での勉強会や自己啓発等のテキストとして積極的に活用することで、コンプライアンスの研鑽に努めています。コンプライアンス研修は、階層別、職務別研修の他、月1回「コンプライアンスの日」を設定し、部店内研修を実施しています。さらに、コンプライアンス担当者の研修を定期的に行い、重要なコンプライアンス事項を全部店に徹底しています。また、定期的に全職場を対象とするコンプライアンス・チェックを実施しています。

■内部監査態勢の充実・強化

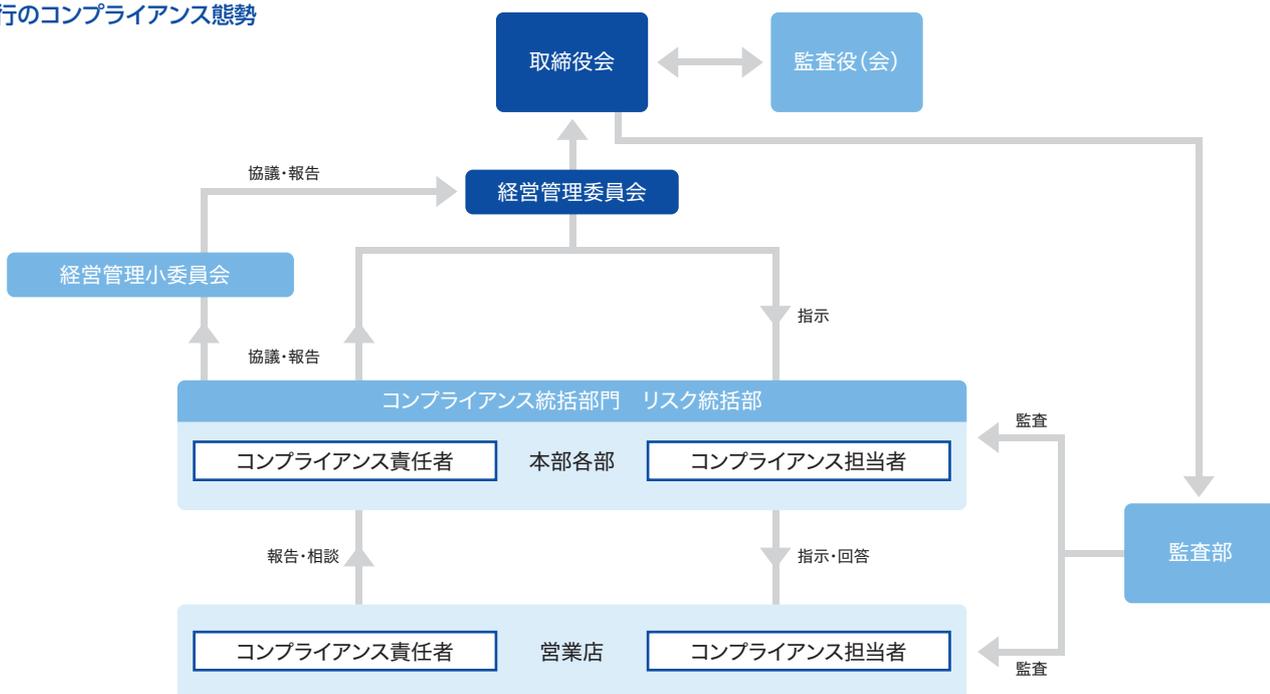
監査部による本部監査、営業店監査を全部店に実施し、業務の運営状況等をチェックしています。本部監査では、内部監査規程・内部監査マニュアルに基づき、本部各部の相互牽制機能やプロセス管理機能など、内部統制の妥当性と有効性を監査しています。営業店監査では、不祥事件の防止および事務の厳正化の観点から、総合監査のほかに部分監査・指示検査を効果的に行っています。さらに、本部各部・営業店による厳正な自主検査を定期的に行っています。

■コンプライアンス・プログラムの実行

コンプライアンスを充実・強化するための実行計画としてコンプライアンス・プログラムを策定しています。平成29年度は、重点項目として(1)法令等遵守態勢の強化(2)顧客保護等管理態勢の強化を掲げ、本部・営業店別のプログラムに基づいてさまざまな施策を実施しています。

当行は、コンプライアンスを経営上の最重要課題の一つと位置づけ、コンプライアンスに基づいた経営に徹することで、銀行の公共的、社会的責任を果たし、お客さまの信頼にお応えしてまいります。

■当行のコンプライアンス態勢



■ リスク管理態勢について

金融技術の革新等により、金融業務に付随するリスクは拡大、多様化しています。

当行は、リスク管理を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、さまざまなリスクを適切に管理し、経営の健全性と効率性の向上が図られるよう、リスク管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

■ 信用リスクについて

信用リスクとは、お取引先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランスを含む）の価値が減少ないし消滅し、損失を被るリスクのことをいいます。

当行では、「信用リスク管理方針」を定め、各部門において適切にリスク管理を実行し、信用リスクを有する資産の健全性の維持・向上、および最適なポートフォリオの構築に努めています。また、信用リスク管理手法の見直しを継続的にを行い、その高度化を図っています。

資産の健全性を維持・向上させるため、本部審査部門は従来から一貫して営業推進部門等からの独立性を確保し、適切な審査・管理を行う態勢としています。また、リスク統括部が信用格付・自己査定の実証、与信ポートフォリオ管理等により、営業店や本部審査部門に対して牽制機能を発揮するとともに、信用格付・自己査定制度のさらなる充実に取り組んでいます。

個社別の信用リスク管理としては、財務分析システムを利用した企業分析などにより、定期的にお取引先の実態把握を行っています。与信残高等が一定の基準に該当するお取引先については、その実態把握に基づいて「信用格付」を実施し、その信用格付を年1回以上見直すとともに自己査定を行い、貸出資産等の劣化防止に努めています。

自己査定制度とは、お客さまの預金などが、どの程度安全確実な資産に見合っているかを判定する制度です。当行では、行内ルールにより、貸出金などの資産内容を個別に検討し、回収の危険性または価値の毀損の危険性の度合いに従って区分し、この自己査定結果に基づいた適正な償却・引当を実施することにより、当行すべての資産における健全性を堅持しています。

個別貸出案件の審査に当たっては、信用格付を基礎とするとともに、担保価値に過度に依存することなく、業種の特性や技術力、成長性、キャッシュ・フローによる債務償還能力などを総合的に勘案し、経営実態を踏まえて判断しています。

■ 流動性リスクについて

流動性リスクとは、運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流失により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被る資金繰りリスクや市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被る市場流動性リスクのことをいいます。

当行では、資金の逼迫をもたらすことのないよう資産の健全性と信用の維持に努めるほか、常に余裕を持った資金繰りを行うことができるよう資金調達や運用状況の分析を日々綿密に行うとともに、国債等の換金性の高い資産については健全な保有比率を維持することとしています。

また、資金繰り逼迫時の対応をまとめた危機管理対策をあらかじめ策定し、流動性リスク管理に万全を期しています。

与信ポートフォリオ管理については、特定の地域・業種・グループに対する与信集中の状況などを定期的に把握することに加え、全国地方銀行協会の「信用リスク情報統合システム(CRITS)」等を活用し、信用リスクデータの蓄積や信用リスク量の算出を行うことなどにより、信用リスクをコントロールしています。

■ 市場リスクについて

市場リスクとは、金利、株式、為替等のさまざまな市場リスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスクや資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクのことで、金融のグローバル化の進展や金融技術の革新に伴い、多様化・複雑化しています。

当行では、「経営体力の範囲内で適正な市場リスクをとり、収益の安定的向上を図るため、当行の有する市場リスクを的確に把握するとともに、経営体力、業務の規模・特性に見合った管理・コントロールを実施する」を基本方針とし、管理態勢の充実に努め、市場リスクの最適化を図っています。

市場リスクの管理態勢

当行では、市場取引を行う市場部署（フロントオフィス）、市場部署が約定した取引の確認と事務を行う事務管理部署（バックオフィス）に加え、リスク管理部署（ミドルオフィス）を設置しリスク許容額を定め損益状況や市場リスクを計測し、定期的にリスク状況が経営陣に報告され、適正な対応がとられる態勢となっています。

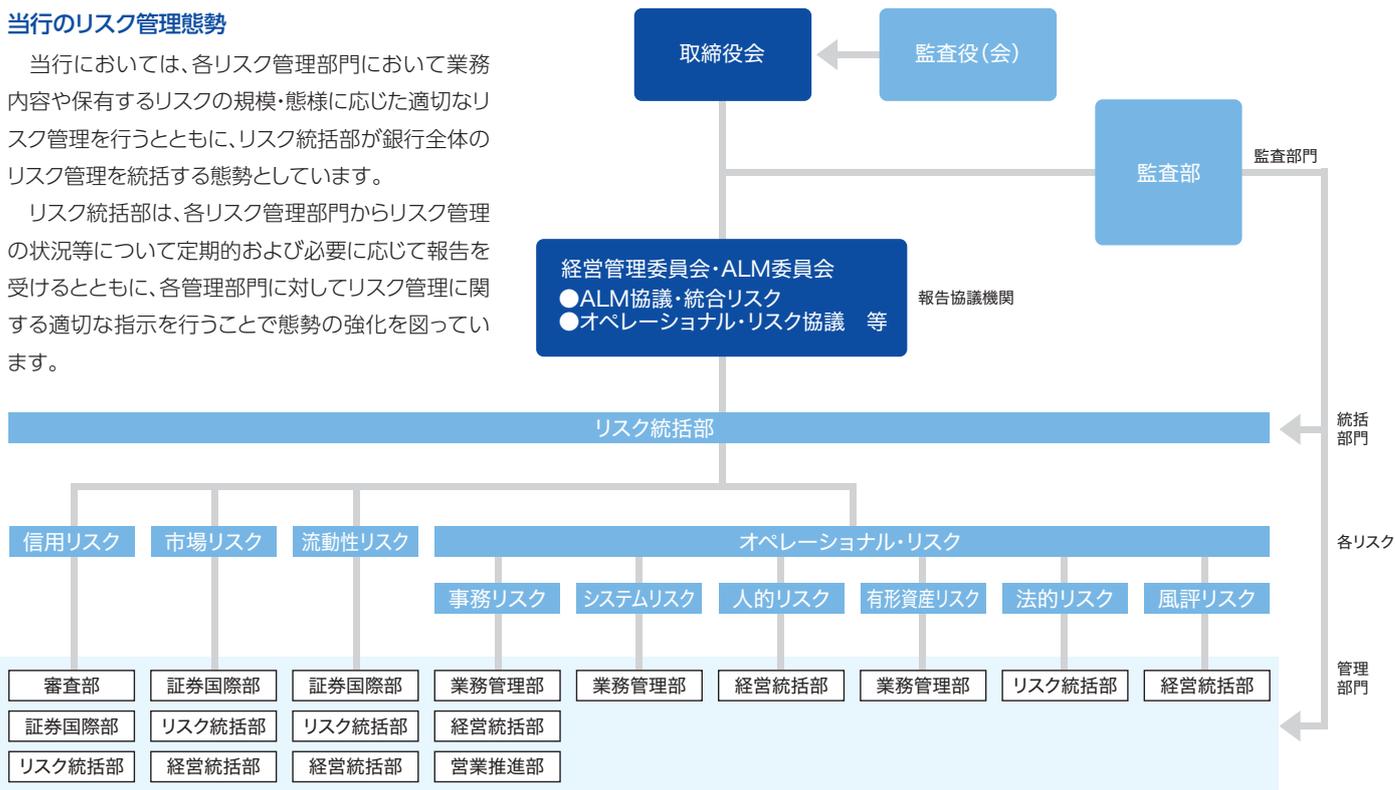
市場リスクの管理手法

当行では、市場取引のリスクに対して、VaR（バリュー・アット・リスク）法を用いて、金利変動リスク、価格変動リスクおよび為替変動リスクの統合管理を行っています。また、円金利リスクについては、預金・貸出金を含めた銀行全体でのリスクをギャップ分析、現在価値分析、BPV（ベース・ポイント・バリュー）法などによりきめ細かく管理しています。

当行のリスク管理態勢

当行においては、各リスク管理部門において業務内容や保有するリスクの規模・態様に応じた適切なリスク管理を行うとともに、リスク統括部が銀行全体のリスク管理を統括する態勢としています。

リスク統括部は、各リスク管理部門からリスク管理の状況等について定期的および必要に応じて報告を受けるとともに、各管理部門に対してリスク管理に関する適切な指示を行うことで態勢の強化を図っています。



■オペレーショナル・リスクについて

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失が発生するリスクのことで、当行では、「事務リスク」、「システムリスク」、「人的リスク」、「有形資産リスク」、「法的リスク」、「風評リスク」について管理を行っています。

これらのリスクは業務運営上可能な限り回避すべきリスクであり、当行では、「オペレーショナル・リスク管理方針」を定めるとともに、適切に管理するための組織体制および仕組みを整備し、リスク発生の未然防止、および発生時の影響の極小化に努めています。

事務リスクについて

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故、不正等を起こすことにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、取扱商品の多様化、複雑化および事務取扱量の増大に伴い、将来発生することが想定される事務リスクを回避するため事務管理態勢の強化に取組んでいます。

営業店に対しては自店検査の定着、事務指導体制の充実、監査部による厳正な監査を実施するとともに、本部各部に対しても監査を実施し管理態勢を強化しています。

システムリスクについて

システムリスクとは、災害や機器・回線障害等、コンピュータ・システムの停止やコンピュータの誤作動等により損失を被るリスク、あるいはコンピュータの不正使用、サイバー攻撃等による情報の漏洩・改ざん等により損失を被るリスクをいいます。

銀行業務は多様化、複雑化し、コンピュータ・システムは銀行に欠くことのできない存在となっています。このコンピュータ・システムを適正かつ円滑に運用することは、お客さまに質の高いサービスを提供するうえで極めて重要であります。当行では、災害や障害等に備え、「緊急事態対応計画(コンティンジェンシー・プラ

ン)」を策定するとともに、コンピュータ機器、通信回線等の二重化によるバックアップ体制を整備するなど、さまざまな基盤・安全対策の拡充に取り組んでいます。さらに、高度化、巧妙化しているサイバー攻撃などへ対応する会議体、「AWA-CSIRT」を設置し、サイバーセキュリティ管理態勢の整備・強化を図っています。

また、情報資産の保護に向けての安全対策に関するルールとして「情報資産管理基本規程(セキュリティポリシー)」、「情報資産安全対策基準(セキュリティスタンダード)」を制定し、お客さまに関する情報の管理の徹底に努めております。

その他オペレーショナル・リスクについて

「人的リスク」、「有形資産リスク」、「法的リスク」、「風評リスク」につきましても、それぞれにリスク管理方針を定め、適切な管理を行っています。

「人的リスク」とは、人事労務上の問題等に起因して損失を被るリスクをいいます。「有形資産リスク」とは、災害やその他の事象により生じる有形資産の毀損や損害を被るリスクをいいます。「法的リスク」とは、訴訟の発生や各種法令・規制の変更により予期せぬ損害を被るリスクをいいます。「風評リスク」とは、企業に対する否定的な世論(悪い評判)が、企業の収益や資本、顧客基盤等に損失をもたらすリスクをいいます。

■ 店舗 [99店舗]

徳島市内 [30店舗]

本店	〒770-8601 徳島市西船場町二丁目24-1 ☎(088)623-3131	住 外 両 土 日 祝
徳島駅前	〒770-8601 徳島市西船場町二丁目24-1 ☎(088)622-3366 ※徳島駅前支店は本店内で営業しています	住 外 土 日 祝
新聞放送会館出張所	〒770-8601 徳島市西船場町二丁目24-1 ☎(088)652-1118 ※新聞放送会館出張所は本店内で営業しています	外 土 日 祝
両国橋	〒770-0911 徳島市東船場町二丁目21-2 ☎(088)622-5141	住 外 土 日 祝
かちどき橋	〒770-0911 徳島市東船場町二丁目21-2 ☎(088)653-2411 ※かちどき橋支店は両国橋支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
徳島市役所	〒770-0847 徳島市幸町二丁目5 ☎(088)655-3553	住 外 両 土 日 祝
県庁	〒770-0941 徳島市万代町一丁目1 ☎(088)623-3247	住 外 両 土 日 祝
昭和町	〒770-0943 徳島市中昭和町二丁目36-4 ☎(088)654-6181	住 外 土 日 祝
津田	〒770-8004 徳島市津田西町一丁目4-11 ☎(088)663-1030	住 外 土 日 祝
二軒屋	〒770-0928 徳島市二軒屋町三丁目24-1 ☎(088)622-6158	住 外 土 日 祝
八万	〒770-8074 徳島市八万町下福万169-1 ☎(088)668-4088	住 外 土 日 祝
法花	〒770-8084 徳島市八万町法花谷296-1 ☎(088)669-2765	住 外 土 日 祝
問屋町	〒770-8056 徳島市問屋町64 ☎(088)622-5351	住 外 土 日 祝
福島	〒770-0863 徳島市安宅二丁目6-67 ☎(088)622-7168	住 外 土 日 祝
末広	〒770-0863 徳島市安宅二丁目6-67 ☎(088)623-3156 ※末広支店は福島支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
マリンピア	〒770-0874 徳島市南沖洲三丁目2-10 ☎(088)664-5588	住 外 土 日 祝
中央市場	〒770-0872 徳島市北沖洲四丁目1-38 ☎(088)628-2750	住 外 土 日 祝
住吉	〒770-0861 徳島市住吉四丁目5-85 ☎(088)623-2011	住 外 土 日 祝
助任橋	〒770-0815 徳島市助任橋三丁目1-2 ☎(088)625-3141	住 外 土 日 祝
滑北	〒770-0802 徳島市吉野本町四丁目48-3 ☎(088)654-5544	住 外 土 日 祝
佐古東	〒770-0022 徳島市佐古二番町6-17 ☎(088)654-5161	住 外 土 日 祝
佐古	〒770-0027 徳島市佐古七番町4-26 ☎(088)622-3175	住 外 土 日 祝
田宮	〒770-0004 徳島市南田宮四丁目1-40 ☎(088)631-1890	住 外 土 日 祝
矢三	〒770-0004 徳島市南田宮四丁目1-40 ☎(088)631-6121 ※矢三支店は田宮支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
蔵本	〒770-0042 徳島市蔵本町二丁目19 ☎(088)631-3191	住 外 両 土 日 祝
鮎喰	〒770-0046 徳島市鮎喰町二丁目95-2 ☎(088)632-5522	住 外 土 日 祝
国府	〒779-3122 徳島市国府町府中宇柿ノ原田723-10 ☎(088)642-1177	住 外 土 日 祝
川内	〒771-0141 徳島市川内町竹須賀155-1 ☎(088)665-1321	住 外 土 日 祝

徳島北	〒771-0131 徳島市川内町大松238-1 ☎(088)665-8686	住 外 土 日 祝
新町プラザ出張所	〒770-0912 徳島市東新町一丁目29 ☎(0120)106-023	住 土 日 祝

鳴門市内 [6店舗]

鳴門	〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜663 ☎(088)686-3151	住 外 両 土 日 祝
大津	〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜663 ☎(088)685-3838 ※大津支店は鳴門支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
鳴門東	〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字元地304 ☎(088)685-6060	住 外 土 日 祝
黒崎	〒772-0001 鳴門市撫養町黒崎字松島106 ☎(088)685-1661	住 外 土 日 祝
瀬戸	〒771-0360 鳴門市瀬戸町明神字下本城158-2 ☎(088)688-0133	住 外 土 日 祝
板東	〒779-0237 鳴門市大麻町板東字北条34-4 ☎(088)689-1231	住 外 土 日 祝

小松島市内 [3店舗]

小松島	〒773-0003 小松島市松島町7-14 ☎(0885)32-2211	住 外 両 土 日 祝
中田	〒773-0015 小松島市中田町字原ノ下1-5 ☎(0885)33-0808	住 外 土 日 祝
赤石	〒773-0021 小松島市赤石町11-2 ☎(0885)38-2626	住 外 土 日 祝

阿南市内 [7店舗]

阿南	〒774-0030 阿南市富岡町トノ町49-6 ☎(0884)22-1201	住 外 両 土 日 祝
見能林	〒774-0030 阿南市富岡町トノ町49-6 ☎(0884)23-2888 ※見能林支店は阿南支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
羽ノ浦	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄市13-1 ☎(0884)44-3150	住 外 土 日 祝
古庄	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄市13-1 ☎(0884)44-3172 ※古庄支店は羽ノ浦支店内で営業しています	住 外 土 日 祝
橘	〒774-0023 阿南市橘町東中浜71 ☎(0884)27-0430	住 外 土 日 祝
新野	〒779-1510 阿南市新野町馬場73-1 ☎(0884)36-3221	住 外 土 日 祝
中島	〒779-1242 阿南市那賀川町赤池168-8 ☎(0884)42-1150	住 外 土 日 祝

県北部 [8店舗]

松茂	〒771-0220 板野郡松茂町広島字東裏42-3 ☎(088)699-2911	住 外 土 日 祝
北島	〒771-0204 板野郡北島町鯛浜字かや123-1 ☎(088)698-2611	住 外 土 日 祝
勝瑞	〒771-1273 板野郡藍住町勝瑞字東勝地364-10 ☎(088)641-1141	住 外 土 日 祝
藍住	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊246-1 ☎(088)692-2631	住 外 土 日 祝
藍住西	〒771-1201 板野郡藍住町奥野字西中須53-1 ☎(088)692-6511	住 外 土 日 祝
板野	〒779-0105 板野郡板野町大寺字泉口14-2 ☎(088)672-1166	住 外 土 日 祝
上板	〒771-1301 板野郡上板町鍛冶屋原字妙楽寺1-2 ☎(088)694-3131	住 外 土 日 祝
ゆめプラザ出張所	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字東中須88-1(ゆめタウン徳島1階) ☎(088)692-8899	住 外 土 日 祝

県南部[8店舗]

勝浦	〒771-4307 勝浦郡勝浦町大字三溪字上川原42-12 ☎(0885)42-2551	住外 土日祝
鷺敷	〒771-5203 那賀郡那賀町和食郷字南川82-1 ☎(0884)62-2009	住外 土
平谷	〒771-6321 那賀郡那賀町平谷字窪田15-1 ☎(0884)67-0211	住外
由岐	〒779-2103 海部郡美波町西の地字西地50-1 ☎(0884)78-1155	住外
日和佐	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字本村155-1 ☎(0884)77-1155	住外 土日祝
牟岐	〒775-0006 海部郡牟岐町大字中村字本村128-1 ☎(0884)72-1181	住外
海南	〒775-0203 海部郡海陽町大里字上中須140-4 ☎(0884)73-1300	住外 土日祝
穴喰	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字松原57-1 ☎(0884)76-3131	住外 土

県西部[18店舗]

石井	〒779-3233 名西部石井町石井字石井511-1 ☎(088)674-1122	住外 土日祝
亀王	〒779-3224 名西部石井町高川原字加茂野363 ☎(088)674-1101	住外 土日祝
鴨島	〒776-0010 吉野川市鴨島町鴨島388-3 ☎(0883)24-2131	住外 画
川島	〒779-3304 吉野川市川島町宮島690-2 ☎(0883)25-2814	住外 土日祝
山川	〒779-3403 吉野川市山川町前川202-8 ☎(0883)42-3131	住外 土日祝
土成	〒771-1506 阿波市土成町土成字南原236-3 ☎(088)695-3777	住外 土日祝
市場	〒771-1604 阿波市市場町市場字町筋344-6 ☎(0883)36-5121	住外
阿波町	〒771-1703 阿波市阿波町東原177-1 ☎(0883)35-5454	住外 土
穴吹	〒777-0005 美馬市穴吹町穴吹字五反地34-1 ☎(0883)52-2113	住外 土日祝
脇町	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字八幡神社下南121-1 ☎(0883)52-2111	住外 画 土日祝
貞光	〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字町51-1 ☎(0883)62-3161	住外
美馬	〒771-2106 美馬市美馬町字天神100-7 ☎(0883)63-5221	住外 土
半田	〒779-4403 美馬郡つるぎ町半田字木ノ内140-1 ☎(0883)64-2017	住外
三野	〒771-2304 三好市三野町芝生406 ☎(0883)77-2355	住外 土
三好	〒771-2501 三好郡東みよし町昼間3230 ☎(0883)79-3666	住外 土
加茂	〒779-4701 三好郡東みよし町加茂1798-1 ☎(0883)82-2600	住外 土日祝
池田	〒778-0002 三好市池田町マチ2512-13 ☎(0883)72-2100	住外 画 土日祝
山城	〒779-5304 三好市山城町大川持586-3 ☎(0883)86-1313	住外

県外[19店舗]

高松	〒760-0017 香川県高松市番町一丁目1-5 ☎(087)826-1170	住外
高知	〒780-0870 高知県高知市本町四丁目2-52 ☎(088)825-1414	住外
松山	〒790-0003 愛媛県松山市三番町四丁目8-3 ☎(089)931-8241	住外
東京	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町一丁目13-7 ☎(03)3272-6891	外
大阪	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町三丁目1-7 ☎(06)6251-4154	外
西大阪	〒550-0022 大阪府大阪市西区本田一丁目7-7 ☎(06)6582-8141	外
堺	〒590-0833 大阪府堺市堺区出島海岸通二丁目10-11 ☎(072)245-0405	住外
尼崎	〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通二丁目12-10 ☎(06)6481-3111	外
神戸	〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通六丁目1-15 ☎(078)251-6511	外
姫路	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町140 ☎(079)284-6001	外
岡山	〒700-0904 岡山県岡山市北区柳町一丁目1-1 ☎(086)233-7511	外
丸亀	〒763-0033 香川県丸亀市中府町二丁目2-7 ☎(0877)22-1117	住外
蒲田	〒144-0052 東京都大田区蒲田五丁目15-8 ☎(03)3730-8021	外
横浜	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目4-1 ☎(045)473-1100	外
北大阪	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目23-26 ☎(06)6386-6191	外
江戸川	〒132-0024 東京都江戸川区一之江八丁目4-3 ☎(03)5662-4060	外
東大阪	〒577-0012 大阪府東大阪市長田東四丁目1-18 ☎(06)6747-8585	外
南大阪	〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町一丁目28-1 ☎(06)6623-6262	外
東京城北	〒114-0002 東京都北区王子二丁目30-3 ☎(03)3927-1051	外

証券・保険プラザ ※あわぎん証券プラザ共通フリーダイヤル:0120-8388-05

あわぎん証券・保険プラザ(新町)	〒770-0912 徳島市東新町一丁目29 新町プラザ出張所内 ☎(088)654-1160
あわぎん証券・保険プラザ(鳴門)	〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜663 鳴門支店2階 ☎(088)686-3170
あわぎん証券・保険プラザ(鳴門東)	〒772-0017 鳴門市撫養町立岩字元地304 鳴門東支店1階 ☎(088)685-6150

その他特殊店舗

提携エーティーエム支店	〒770-8601 徳島市西船場町二丁目25-2(徳島集中センター内) ☎(088)623-3131
-------------	---

(平成29年5月31日現在)

- ※凡例
- 住…住宅金融支援機構業務取扱店
 - 外…外国為替取扱店
 - 画…外貨両替店
 - 土…土曜日CD・ATM稼働店
 - 日…日曜日CD・ATM稼働店
 - 祝…祝日CD・ATM稼働店

(注)画は、外貨両替を直接取扱っている店舗です。

■店舗外CD・ATM設置場所[119カ所]

徳島市内[50カ所]

春日橋	(A)(+)(目)(※)
徳島駅前	(A)(+)(目)(※)
中央病院	(A)(+)(目)(※)
徳島大学病院	(A)(+)
キョーエイ佐古店	(A)(+)(目)(※)
徳島西(佐古支店横)	(A)(+)(目)(※)
自治会館	(A)(+)
キョーエイ中央店	(A)(+)(目)(※)
新町ビル前	(A)(+)(目)(※)
徳島ターミナルビル	(A)(+)(目)(※)
アミコ	(A)(+)(目)(※)
アミコ第3	(A)(+)(目)(※)
しらすぎ台	(A)(+)(目)(※)
かちどき橋	(A)(+)(目)(※)
徳島県警本部	(A)
徳島市民病院	(A)(+)(目)(※)
昭和町トヨペット前	(A)(+)
キリン堂昭和店	(A)(+)(目)(※)
デイリーマート津田	(A)(+)(目)(※)
新浜	(A)(+)
大原	(A)(+)(目)(※)
学生会館	
四国大学	(A)
古川	(A)(+)(目)(※)
応神	(A)(+)(目)(※)
丈六団地	(A)(+)(目)(※)
マルヨシセンター八万	(A)(+)(目)(※)
マルヨシセンター城南	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ山城橋	(A)(+)(目)(※)
ローソン下福万店	(A)(+)(目)(※)
とくしま生協住吉	(A)(+)(目)(※)
沖浜	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ鮎喰	(A)(+)(目)(※)
タクト	(A)(+)(目)(※)
タクト第2	(A)(+)(目)(※)
大塚化学前	(A)(+)
加賀須野	(A)(+)(目)(※)
未広	(A)(+)(目)(※)
福島橋	(A)(+)(目)(※)
南未広	(A)(+)(目)(※)
イオンモール徳島	(A)(+)(目)(※)
マルナカ徳島	(A)(+)(目)(※)
マルナカ徳島第2	(A)(+)(目)(※)
デイリーマート田宮	(A)(+)(目)(※)
田宮ママの店	(A)(+)(目)(※)
大松	(A)(+)(目)(※)
田岡病院	(A)(+)(目)(※)
矢三	(A)(+)(目)(※)
セブン国府	(A)(+)(目)(※)
新聞放送会館ATM	(A)

鳴門市内[11カ所]

キョーエイ鳴門駅前	(A)(+)(目)(※)
鳴門病院	(A)
鳴門市役所	(A)(+)(目)(※)
鳴門市役所第2	(A)(+)(目)(※)
鳴門教育大学	(A)
マルナカマート大津	(A)(+)(目)(※)
コスモス鳴門南店	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ堀江	(A)(+)(目)(※)
黒崎北	(A)(+)(目)(※)
パワーシティ鳴門	(A)(+)(目)(※)
大塚国際美術館	(A)(+)(目)(※)

小松島市内[8カ所]

徳島赤十字病院	(A)(+)(目)(※)
小松島市役所	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ小松島店	(A)(+)(目)(※)
小松島ニュータウン	(A)(+)
小松島日開野	(A)(+)(目)(※)
平惣羽ノ浦	(A)(+)(目)(※)
金磯	(A)(+)(目)(※)
ルピア	(A)(+)(目)(※)

阿南市内[15カ所]

日亜化学工業	(A)(+)
日亜化学工業辰巳	(+)(目)(※)
キョーエイ羽ノ浦	(A)(+)(目)(※)
宝田	(A)(+)(目)(※)
阿南中央病院	(A)(+)
阿南支店南	(A)(+)(目)(※)
アピカ	(A)(+)(目)(※)
王子製紙前	(A)(+)

マネキ学原	(A)(+)(目)(※)
阿南市役所	(A)
那賀川支所	(A)(+)
桑野	(A)(+)(目)(※)
フジグラン阿南	(A)(+)(目)(※)
見能林	(A)(+)(目)(※)
古庄	(A)(+)(目)(※)

県北部[12カ所]

徳島空港	(+)(目)(※)
空港西	(A)(+)(目)(※)
松茂工業団地入口	(A)(+)(目)(※)
藍住ママの店	(A)(+)(目)(※)
とくしま生協北島	(A)(+)(目)(※)
フジグラン北島	(A)(+)(目)(※)
北島支店前	(A)(+)(目)(※)
藍住インター北	(A)(+)(目)(※)
セブン藍住	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ笠木	(A)(+)(目)(※)
上板東	(A)(+)(目)(※)
ゆめタウン徳島	(A)(+)(目)(※)

県南部[1カ所]

ボルト	(A)(+)(目)(※)
-----	--------------

県西部[21カ所]

高川原	(A)(+)(目)(※)
フジグラン石井	(A)(+)(目)(※)
石井ママの店	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ石井	(A)(+)(目)(※)
アクアシティー	(A)(+)(目)(※)
上下島	(A)(+)(目)(※)
吉野川市役所	(A)
セレブ	(A)(+)(目)(※)
上浦	(A)(+)(目)(※)
パワーシティ鴨島	(A)(+)(目)(※)
マルナカ吉野	(A)(+)(目)(※)
キョーエイ市場	(A)(+)(目)(※)
アワーズ	(A)(+)(目)(※)
脇町東	(A)(+)(目)(※)
脇町西	(A)
フレスポ阿波池田	(A)(+)(目)(※)
三好病院	(A)
貞光ゆうゆう館	(A)(+)(目)(※)
半田病院	(A)
神山町役場	(+)
阿波市役所	(A)

企業内[1カ所]

大塚製薬工場	(A)(+)(目)(※)
--------	--------------

※凡例 (A)…ATM

●当行キャッシュサービスコーナーのご利用時間とお引出し手数料

区分	ご利用時間	お引出し手数料	
		当行キャッシュカード	他行キャッシュカード
平日	8:00～8:45	108円	216円
	8:45～18:00	無料	108円
	18:00～21:00	108円	216円
土・日・祝日	9:00～21:00	108円	216円

(注)1.ご利用時間は、当行キャッシュサービスコーナーの最長営業時間です。店舗により、ご利用になれる時間が異なっております。
2.お引出し手数料には、消費税等相当額が含まれています。

●コンビニATMの設置台数

ATM種別	全国	徳島県内	設置台数
ローソンATM共同ATM	11,958台	129台	
イーネット共同ATM	13,534台	69台	
セブン銀行共同ATM	23,524台	94台	
イオン銀行共同ATM	5,879台	56台	

※設置場所の詳細は当行ホームページに掲載しております。

●コンビニATMのご利用時間とご利用手数料

区分	ご利用時間	ご利用手数料
平日	8:00～8:45	216円
	8:45～18:00	108円
	18:00～21:00	216円
土・日・祝日	8:00～21:00	216円

(注)1.ご利用手数料はお引出し、お預入れ、お振込みの際に必要です。
なお、お振込みについては、ローソンATM共同ATMおよびイーネット共同ATMのみでの取扱となります。お振込みには別途お振込手数料が必要です。
2.ご利用手数料には、消費税等相当額が含まれています。

(平成29年5月31日現在)

店舗配置図

(平成29年5月31日現在)



はじめに

財務情報

事業活動

商品・サービス

阿波銀行について

■行章とシンボルマーク

シンボルマーク (愛称: クリエイティブA)

阿波銀行のイニシャル「A」をモチーフにデザインしました。藍色の四角形は「未来に開かれた窓」と「地域に開かれた窓」を、赤色の球体は「お客さまのさまざまなニーズ」と「行員の情熱」をそれぞれ意味しています。

■キャラクター:ロダン

RODAN
©TSUBUKI-GREEN CAMEL

作者の佃公彦氏は地元ゆかりのある漫画家です。

■あわぎんインターネット・モバイルバンキングキャラクター: ai-mo(アイモ)



行章/阿波銀行の「阿」を三重の丸い線がつつんでいます。三本の線は、従業員の和と努力により、銀行の発展を通じて地域社会の繁栄に貢献しようという使命を表し、また、「四国三郎・吉野川」を象形しています。



国際シンボルマーク/マークはAWAをデザインしたものです。波を連想させる三本の斜め線は、世界に向けて常に前進する躍動感を、また、シンボルカラーのブルーは、青い海と青い空に恵まれた徳島をイメージしています。

「阿波銀行ディスクロージャー誌2017」は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書)です。本誌に掲載されている計数は、原則として、単位未満を切捨てて表示しています。

発行・平成29年7月 株式会社阿波銀行経営統括部 〒770-8601 徳島市西船場町二丁目24番地の1 TEL.088-623-3131(代表)

